

参考資料2-4 解体撤去対象の既存庁舎等に関する資料

解体撤去対象の既存庁舎等の概要

① 建築物

No.	名称	既存図面	構造	規模	延べ面積 [m ²]	備考
1	札幌開発建設部 既存庁舎	1980年 特別修繕工事 2007年 免震改修工事 2014年 防水改修工事 2015年 昇降機改修工事	RC造	地下 2 地上 6 塔屋 2	11,731.60	アスベスト含有建材の使用が見込まれる
2	受水槽室	2007年 免震改修工事 (階段室はA-105)	RC造	地上 1	114.0	アスベスト含有建材の使用が見込まれる
3	予備電源室	2006年 発電機室建築工事	RC造	地上 1	83.47	
4	無線局舎	2007年 免震改修工事 A-100	RC造	地上 2	21.16	
10	ゴミ収集箱	実測寸法の情報が1期庁舎発注図 にあり	プレハブ		4.12	
11	ゴミ収集箱	〃	プレハブ		5.63	
12	ゴミ収集箱	〃	プレハブ		7.47	
13	ゴミ収集箱	〃	プレハブ		2.40	

※面積は、一団地申請書の第三面の記載による

② 工作物等

No.	名称	既存図面	基礎			備考
1	鉄塔	H20耐震診断報告書 4-1~35	不明	地上58m	建設時期 不明	基礎形状不明 無線等の設置機器の撤去は事業に 含まない
2	油タンク	2006年 発電機室建築工事 M1-2	—	16.5kL		油の抜き取りは入居官署で対応 し、タンク内洗浄はPFI事業に含 む。
3	受水槽北側 観測用井戸	なし	不明	—	—	計画上支障となる場合を除き解体 撤去。

③ 残地対象物

No.	名称	既存図面				
1	慰霊碑（2か所）	なし				添付資料4-18「慰霊碑に係る要求 水準」参照

共通事項：

- ① とりこわし対象物は、基礎共撤去する。基礎の撤去により計画上支障が出る場合は国と協議する。
- ② 残地対象物以外は原則的にすべて解体撤去とする。既存利用の可否については国と協議する。
- ③ 有価物については、PFI事業にて指定場所まで運搬し国に報告する。（有価物の売却はPFI事業に含まない）

札幌開建特別修繕(建築)工事

昭和55年度

北海道開発局営繕部

81BA01-029

図面目録

文一回 設計変更内容表

図面番号	図面名称	工事種目	変更番号	図面番号	設計変更内容
▷ 1	図面目録				外部
▷ 2	仕様書 (No.1)	庁舎	1-a	1/2, 1/3, 1/3, 1/3	外壁—東面→階外壁に化粧板を取替える。
▷ 3	仕様書 (No.2)				内部
▷ 4	修繕内容表、外壁調査内容表、案内配置図				
▷ 5	既設仕上表		2-		
▷ 6	地階、1階平面図		b	1/2, 1/3	地階、男トイレ既設天井を撤去し新天井を吊り下げる。EP管を引く。又前室の天井は清掃の上EP管を引く。
▷ 7	2階、3階平面図		3-a	1/2, 1/3, 1/3	地階、1階、4階の一部天井を撤去し、EP管を引く。
▷ 8	4階、5階平面図				
▷ 9	6階、塔屋、塔屋2階平面図				
▷ 10	外壁調査の立面図、断面図				
▷ 1	地階天井伏図		5-a	// // 1/2, 1/3	地階ホール既設、壁を清掃し、壁にEP管を引く。天井は既設加工を撤去し清掃の上、砂壁加工を引く。
▷ 2	1階、2階天井伏図		b	// // 1/2, 1/3	。ロビー既設天井を清掃の上EP管を引く。
▷ 3	2階天井伏図		c	1/2, 1/3	。食堂既設天井を清掃の上EP管(柱間)天井中央部を撤去しEP管を引く。
▷ 4	3階天井伏図				又壁型はE.P.ドレンを天井裏に埋め込み、P.内部の
▷ 5	4階天井伏図		6-a	1/2, 1/3	2階用務員室、5階電話交換室にエスケープ用の既設床に化粧板を貼る。7階エスケープ台を新設する。
▷ 6	5階天井伏図				
▷ 7	6階、塔屋、塔屋2階天井伏図		7-a	1/2, 1/3, 1/3, 1/3, 1/3, 1/3	地階—6階の各室天井の一部天井を撤去し、EP管を引く。
▷ 8	水槽室平面図、断面図、詳細図				
▷ 9	水槽室構造図		8-a	1/2, 1/3, 1/3, 1/3, 1/3	2階—5階の各室、立上り管の取替と伴に柱外ブロック壁の一部撤去し、ブロックを直し、ガラスを引く。EP管を引く。天井は既設を撤去し、再使用。P. (水槽室) 天井裏にガラス管を引く。EP管を引く(10%)
▷ 20	参考図 (No.1)				
▷ 1	参考図 (No.2)				
▷ 2	参考図 (No.3)		9-a	1/2, 1/3	5階電話交換室の天井を撤去し、取替える。
▷ 3	参考図 (No.4)				
▷ 4		水槽室	10-a	1/2, 1/3	既設1階エスケープの新設水槽室の取替部分に、鋼板を溶接し、2ヶ所に変更する。
▷ 5					
▷ 6					
▷ 7					
▷ 8					
▷ 9					
▷ 30					
▷ 1					
▷ 2					
▷ 3					
▷ 4					
▷ 5					
▷ 6					
▷ 7					
▷ 8					
▷ 9					
▷ 40					

札幌市特別修繕(建築)工事

図面目録

S: 1/

1

第1回設計変更

北海道開発局営繕部

23

81BA01-030

16	1 アルミニウム製建具	気密性による種類 ※8 水密性による種類 ※35 表面処理 無着色陽極酸化皮膜 ・着色陽極酸化皮膜 三協アルミニウム工業XX、昭和鋼機XX、住友ウォールシステムXX、日鉄カーテンウォールXX、日本軽金属XX、日本建鉄XX、不二サッシ工業XX、三井軽金属加工XX、理研アルミ工業XX	(16.1.3表) (16.1.4表)
2	鋼製建具	三協アルミニウム工業XX、三和シャッター工業XX、昭和鋼機XX、住友ウォールシステムXX、日鉄カーテンウォールXX、日本軽金属XX、日本建鉄XX、不二サッシ工業XX、三井軽金属加工XX、理研鋼機XX	
3	鋼製軽金属建具	三和シャッター工業XX、田中サッシ工業XX、日本建鉄XX、三井軽金属加工XX、理研鋼機XX	
4	ステンレス製建具	鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・かど出し曲げ 三和シャッター工業XX、昭和鋼機XX、住友ウォールシステムXX、日鉄カーテンウォールXX、ナカ工業XX、日鉄カーテンウォールXX、日本建鉄XX、不二サッシ工業XX、三井軽金属加工XX、理研鋼機XX	(16.4.3)
5	鋼製巻込みシャッター	開閉機構による種類 ※上部電動式(手動併用) ・手動式 小供シャッター工業XX、三和シャッター工業XX、鈴木シャッター工業XX、北海道文化シャッターXX	(16.5.2)
6	軽量シャッター	開閉機構による種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 小供シャッター工業XX、三和シャッター工業XX、鈴木シャッター工業XX、北海道文化シャッターXX	(16.6.1表)
7	建具用金物	丁番(ステンレス製) 太田興業XX(BEST)、洗谷金属XX(SVS)、KK杉田金属(SUGITA)、GK楽商店(HORI)、マルト金物工業XX(MRT) マスターキー ※製作する ※製作しない シリンドー錠錠 KKゾール(PHY)、昭和ロックXX(CHN)、美和ロックXX(MMSD) モノロック KKゾール(LHY)、昭和ロックXX(SHDA)、美和ロックXX(HKD) 本総リ付モノロック型 KKゾール(UCY)、昭和ロックXX(ISDA)、美和ロックXX(HMD) 警報付き本総型 KKゾール(GOAL)警報付き非常錠、GK楽商店(No1902)、 美和ロックXX(BH-4 EPHPOP) ドアチェック 大島機工XX(ダイヤモンド)、KKニッカナ(NHN)、日本ドアチェック製造XX(ニュースター)、美和ロックXX(MIWA-M200)、リョービXX(RYOBI) フロアヒンジ 大島機工XX(ダイヤモンド)、KKニッカナ(ニッカナ)、日本ドアチェック製造XX(ニュースター) ラバトリヒンジ 太田興業XX(ラバトリヒンズA型)、洗谷金属XX(SYSLH20)、KK杉田金属(ACE2240) KK楽商店(HMC480#) 自動錠 型式 ※電気式 取付位置 ※扉面 種類 ※ゴムマット KK寺岡オートドア(寺岡式オートドア)、日本ユアブレーキXX(ナプロ自動ドア) 押板、押棒 玄関、風除室 洗谷金属XX(SD-6008LT、SD-2060L、T長さ500mm)、KKユニオン(T-5300A、T-25S長さ550mm)、ナカ工業XX(N-5300a) 便所、洗面所、湯沸室 太田興業XX(NO180白)、洗谷金属XX(PC115白色)、KKユニオン(T-7282ホワイト)	
8	ガラス	普通板ガラス ・A級品 ※B級品 みかき板ガラス ※フロートガラス 複層ガラス ・旭硝子XX、セントラル硝子XX、日本硝子工業XX、 ・高田特殊ガラスXX、白井硝子XX、タケ硝子工業XX、日新産業XX、日本フクソーガラスXX	
9	ガラスのはめ込み	鋼製設置建具 上記以外の建具 ※ポリサルファイドシーリング材又はシリコンシーリング材(2成分形) ・ガスケット	(16.9.1、16.9.2)
10	建具周囲のシーリング材及びコーキング材	※ポリサルファイドシーリング材又はシリコンシーリング材(2成分形) ・油性コーキング材	(16.1.6表)
11	網戸の網	グラスファイバー 網目 16メッシュ	
12	木製建具の樹種	すぎの代用樹種としてえぞ松を使用してよい。	

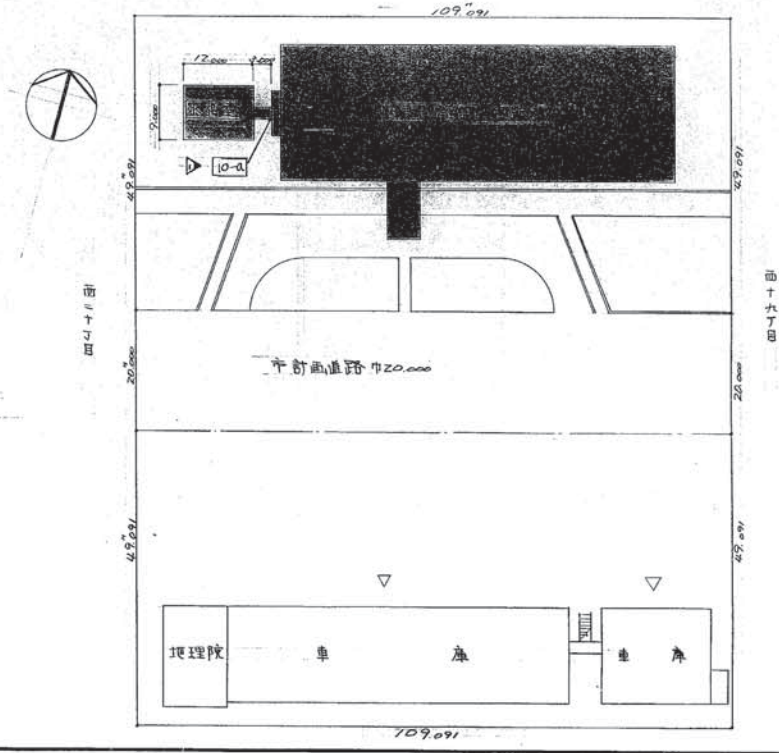
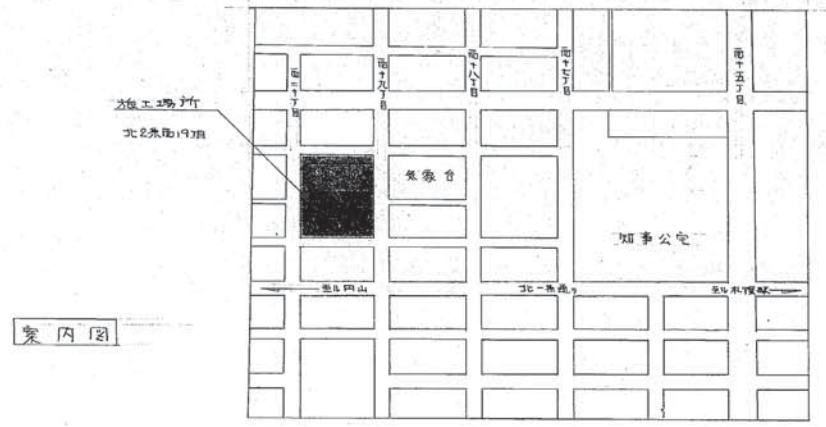
17	1 防火材料	屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、基材同等の認定あかるものとする。	(17.1.1)
2	2 塗料	JIS規格品とする。 1 種	(17.5.1表)
3	3 コンクリート打直し	コンクリート打直し面に塗装(アクリル樹脂エナメル塗り、マスチック塗材塗り)を行う場合は、セメント系フィラーを全面へ塗り付けとする。 関西ペイントXX(カンセメントファイラー)、昭和化学工業XX(ダイヤモンドファイラー)、神東産科XX(シントセメントファイラー)、東亜ペイントXX(トアセメントファイラー)、日本ペイントXX(ニッペセメントファイラー)	
4	4 アクリル樹脂エナメル塗り	工程は下塗り、中塗り、上塗りとし、各工程の塗布量は合計で0.2kg/m ² 以上。 神東産科XX(シントワクリル#6000)、藤倉化成XX(メタラックC)	
5	5 マスチック塗材塗り	施工業者 マスチック塗材施工協会の会員で、同協会が実施する技能検定に合格した技能者を有する業者とする。 施工標準 施工完了後監督員指示の場所に施工標準を取付ける。 日本建設工業会の会員とする。	
6	6 耐酸塗料塗り	ボイラー室等の塗料に耐酸耐水性の塗料。 住友ペイントXX(エポマックス) 神東産科XX(ネオセ#2300) 太田興業XX(エポックス) 日本ペイントXX(ネオP-R)	
18	1 ビニル床タイル張り	エポキシ樹脂接着剤を使用する箇所 地下段下階、1階ホール、1階廊下、階段、湯沸室 化粧せつこうボード ※不燃 三井東洋化学工業(シブスター)、日東石膏XX(ニューノートン)、トラバーチン、吉野石膏XX(シブスター) 石綿けい酸カルシウム板 大建工業XX(ダイケンラックス)、日本アスベストXX(ニチアスラックス)	(18.1.1) (18.3.1表)
2	2 せつこうボード及び石綿けい酸カルシウム板張り	大建工業XX(ダイケンラックス)、日東石膏XX(ニューノートン)、松下電工XX(ナショナルロック)	(18.3.1表)
3	3 ロックウール吸音板張り		
4	4 保温材	材 種 品 質・規 格 厚 さ(mm) 備 考 フォームポリスチレン保温材 押出成形板 ※90 50 土木用フォームポリスチレン保温材 押出成形板 ※30 ロックウール保温材 JIS A9504 3号 K グラスウール保温材 JIS A9505 2号 K	
5	5 天然水化粧合フローリング張り	フォームポリスチレン保温材 旭ダウXX(スタイロフォームIB)、鐘淵化学工業XX(カネライトフォームF1)、日本ステレンペーパーXX(ミラーフォームM1F) 土木用フォームポリスチレン保温材 旭ダウXX(スタイロフォームSM)、鐘淵化学工業XX(カネライトフォームF2)、日本ステレンペーパーXX(ミラーフォームM2F) 松下電工XX(ニューフロア-乱張)、宮田産業XX(ミヤタスーパーライン)	(18.4.2)
6	6 紙及び布張り	防火性能の級別 ※1級 防火性能の級別 ※1級	(18.5.1)
7	7 畳敷き	わら床の代用として下配を使用してよい。 合成床(サンディッチタイプ)から織り、厚55mm 畳表、畳縁はB種とし使用からは防虫処理を行ったものとする。 旭ダウXX、鐘淵化学工業XX、大建工業XX	(18.6.1)
8	8 複合下P板	併用材料 ※PP板 併用材料 ※PP板	
9	9 エナメルメッキパネル	併用材料 ※PP板 併用材料 ※PP板	
19	1 路床土の支持力試験	※行わない ・行う(乱した土・乱さない土・現場試験)	
2	2 路上掘削層及びしりや断層	粗粒材料の粒径 ※19.3.1材料に準ずる 緑の土層 ※300mm 緑の土層 ※300mm 緑の土層 ※300mm	
3	3 路盤	材料の品質、粒径 ※19.3.1材料に準ずる 緑の土層 ※300mm 緑の土層 ※300mm	
4	4 コンクリート舗装	コンクリート 設計基準強度 Fc(kg/cm ²) 240 スランパ 8cm以下 圧入材料 ※針入度80~100	
5	5 加熱アスファルトコンクリート舗装	混合物の標準配合量100m ² 当り。 名 称 仕 上 厚 ^{cm} 積算密度 ^{kg/m³} アスファルト ^{kg/m³} ファイラー ^{kg/m³} 備考 ・細粒度キャップアスコン ・細粒度アスコン ・粗粒度アスコン ・アスファルト安定処理	
6	6 アスファルト乳剤塗布量100m ² 当り	・タックコート 0.06t ・プライムコート 0.12t	
7	7 切取り検査	※行わない ・行う 抽出試験 ※行わない ・行う	
20	1 遊心力鉄筋コンクリート管	継手 ※カラー接合又はソケット管接合 ・ソケット管のゴム接合	(20.1.1)
2	2 排水ます	鋼製 鉄筋コンクリート管 JIS A 5302規格品 鋼製 鉄筋コンクリート管 JIS A 5302規格品 ・鋼製防臭ふた XX小島製作所、KK長谷川製作所、日誌工業XX ・コンクリート製既製品	

21	1 植込用土(客土)	※行わない ・行わない(根の残土へ改良土を使用)	
2	2 土壌改良剤	※使用する 20kg/m ²	
3	3 芝	種 別 ○A上芝(ケンタッキーブルーグラス80%以上) B普通芝(筋芝、天竺草等一般用) ※草種は芝、日地草 目じり ※有 無 (ロール芝使用の目じりは㎡当り20本程度とする)	
4	4 吹付けは種	種子混合量㎡当り ・ファイバー ・客土	
5	5 シーリング材	シーリング材は、ポリサルファイドシーリング材又は、シリコンシーリング材(2成分形)とし、特記なき断面寸法は7×10とする。 種 別 製 造 所 ポリサルファイド P5000、セメダインXX(ポリシール)、タイホー工業XX(トリタイト1000)、日本添加剤工業XX(ファインシーラー300)、横浜ゴムXX(ハマタイト) シリコン 成形状 信越化学工業XX(KF-45)、東芝シリコンXX(トスシール381)、トーレシリコンXX(SH780) シリコン 成形状 信越化学工業XX(シーラント70)、東芝シリコンXX(トスシール361)、トーレシリコンXX(SH792)	(22.1.2)
6	6 コーナービード	高さは床から天井までとする。	(22.2.1)
7	7 階段すべり止め	※ステンレス製(SUS304) アトラス産業XX(SEP NO55100)、太田興業XX(NO65)、ナカ工業XX(STM35)	(22.2.2)
8	8 黒板	黒板 ※鋼製(ホーロー) わく ※アルミニウム製 KK青井黒板製作所、KK一貫堂、松尾黒板製作所XX、二葉黒板XX、KK及羽商會、KK北海道黒板製作所	(22.2.4)
9	9 カーテン	・おれ地 施工箇所 名称、品質 ひだの種類 形式 程度 ・A種・B種・C種 ・片引・引分け 程度 ・A種・B種・C種 ・片引・引分け 程度	(22.4.2)(22.4.3)
10	10 カーテンレール	材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形 状 ※C形又はD形 ・I形 エスエム工業XX、トソーXX、KKコトコ金属工業	(22.4.3)
11	11 ペネシヤブラインド	立川ブラインド工業XX、日米ブラインド工業XX	(22.5.1)
12	12 アルミニウム製ブラインドボックス及びカーテンボックス	日本ボックスレールXX、パイロット万年筆XX	
13	13 アコーデオンドア及びスライディングドア	アコーデオンドアは、消防法に規定する防火加工を行ったものとする。 立川ブラインド工業XX、日米ブラインド工業XX	
14	14 鋼製書架及びたな	KKイトーキ、KK内田洋行、KK岡村製作所、日本ファイリングXX	
15	15 鋼製既製カウンター	※標準型 KKイトーキ(NCL-1984)、KK内田洋行(388-1011)、KK岡村製作所(4816ZZ) 日本ファイリングXX(CO-12)	
16	16 既製間仕切り	表面材及び仕上げ 鋼板 厚さ(mm) 0.6以上 メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料塗付塗装(常備色) 形 式 幅(mm) 両端材 KKイトーキ KK内田洋行 KK岡村製作所 日本ファイリングXX ※スタック式 ・900 フレキシワールハニーワール 4型 5型 6型 7型 8型 9型 10型 11型 12型 13型 14型 15型 16型 17型 18型 19型 20型 21型 22型 23型 24型 25型 26型 27型 28型 29型 30型 31型 32型 33型 34型 35型 36型 37型 38型 39型 40型 41型 42型 43型 44型 45型 46型 47型 48型 49型 50型 ・パネル式 ・1200 フレキシワールハニーワール フォンSS型 ニューセーフウォール マルチウォール	
17	17 ステンレス洗し台	優良住宅部品(トラップ付き)	
18	18 フリ戸だな	優良住宅部品	
19	19 水切りだな	優良住宅部品	
20	20 成型パイプ	フジモリ産業XX(ハイスタック)、日本アスベストXX(ニューカボスタック)	
21	21 くつふきマット	※強化ビニル製(変わくステンレス製) KK寺本製作所(ハイクラウンA型)、山崎産業XX(サンラインマット)	
22	22 点検口	アルミニウム製 床 ※450×450mm・600×600mm 天井 ※450×450mm・600×600mm KKダイケン、ナカ工業XX、理研軽金属工業XX 鉄製マンホール 床 ※600mmφ ・450mmφ ※WPM-B形 KK小島製作所、KK長谷川製作所、KK名和製作所、日誌工業XX	
23	23 室名表示など	・庁舎案内板 ・室名札 ・便所表示 ※切抜型 ・地盤型 ・誘導標識 ・階段表示 タカ企画、中央ネームプレート製作所、東京プラスチックXX、日本合資XX、スクリーンセンター	

24	24 敷地境界石標	・A種 ※B種	(22.6.1)
25	25 鋼製溝ふた	型式(mm) ※採用者以上 KK神戶製鋼、KKダイクレ、KK淀川製鋼所	
26	26 アルミニウム製塗木	KKエーピーシー商會、東興アスファルト工業XX、バラキャップ社、角部加工場加工品を使用する。	
27	27 旗竿	地上高さ(m) ・8 KKサンポール(サンポール)、昭和ポールXX(ショーワフラッグポール)	
28	28 旗竿受金物	太田興業XX(720)、杉田金属XX(SUGITA936)	
29	29 屋外掲示板	※Aタイプ(一本足)・Aタイプ(二本足)・Bタイプ(二本足) 田島メタルワークXX(TSボスターケース)	
30	30 庁名板	・独立文字 ・庁名板 KKいしくろ、中央ネームプレート製作所XX、ナカ工業XX	
31	31 防犯カメラ	日本ドライバイトXX(SW16600φ100・2160)取付	
32	32 外壁調査業者	・器具等 14-Z 15-Z	

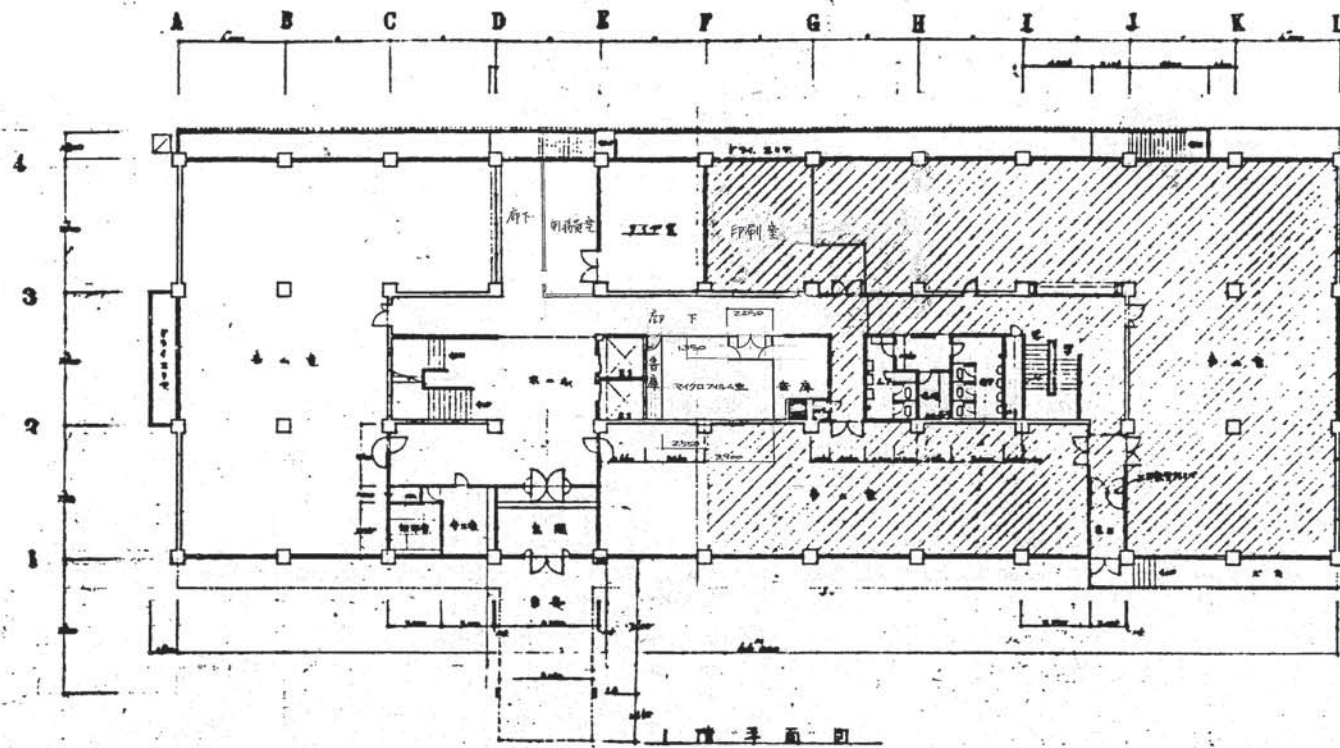
庁舎修繕内容表

補修内容									
下記以外は既設のままである。									
共通事項	1. 補修を行う内装、塗装の種類は既設仕上表による。 2. 既設仕上表と撤去し、設備配管改修後、補修内容表の既設仕上表による補修とする。 3. WP塗装はEP塗装と読替える。								
略号	<table border="1"> <tr> <td>石牌板(F)</td> <td>石牌セメント板(フタシアル板)</td> </tr> <tr> <td>複合FP板</td> <td>特殊石牌板φ4" 70-6ホリスタレ保温板φ20"</td> </tr> <tr> <td>E.P</td> <td>合成樹脂エマルジョン塗料</td> </tr> </table>	石牌板(F)	石牌セメント板(フタシアル板)	複合FP板	特殊石牌板φ4" 70-6ホリスタレ保温板φ20"	E.P	合成樹脂エマルジョン塗料		
石牌板(F)	石牌セメント板(フタシアル板)								
複合FP板	特殊石牌板φ4" 70-6ホリスタレ保温板φ20"								
E.P	合成樹脂エマルジョン塗料								
外部	<table border="1"> <tr> <td>ゴロイヤ天井</td> <td>a. エマルジョンパネルを撤去し、複合FP板と読替えてEP仕上とする。 図 11/22 4桁</td> </tr> <tr> <td>車寄天井</td> <td>b. 真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁</td> </tr> </table>	ゴロイヤ天井	a. エマルジョンパネルを撤去し、複合FP板と読替えてEP仕上とする。 図 11/22 4桁	車寄天井	b. 真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁				
ゴロイヤ天井	a. エマルジョンパネルを撤去し、複合FP板と読替えてEP仕上とする。 図 11/22 4桁								
車寄天井	b. 真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁								
内部	<table border="1"> <tr> <td>天井</td> <td>a. 仕上表を撤去し、読替えてEP仕上とする。</td> </tr> <tr> <td>地階</td> <td>b. 70-2張仕上は下地複合板を撤去し、複合板(70-2)6"と下貼り70-2張仕上とする。(4桁は70-2仕上表の読替える)</td> </tr> <tr> <td>1階~6階</td> <td>図 10/22 ~ 11/22 4桁</td> </tr> <tr> <td>塔屋1階</td> <td>c. 1階廊下真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁</td> </tr> </table>	天井	a. 仕上表を撤去し、読替えてEP仕上とする。	地階	b. 70-2張仕上は下地複合板を撤去し、複合板(70-2)6"と下貼り70-2張仕上とする。(4桁は70-2仕上表の読替える)	1階~6階	図 10/22 ~ 11/22 4桁	塔屋1階	c. 1階廊下真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁
天井	a. 仕上表を撤去し、読替えてEP仕上とする。								
地階	b. 70-2張仕上は下地複合板を撤去し、複合板(70-2)6"と下貼り70-2張仕上とする。(4桁は70-2仕上表の読替える)								
1階~6階	図 10/22 ~ 11/22 4桁								
塔屋1階	c. 1階廊下真鍮口14桁新設する。 図 11/22 4桁								

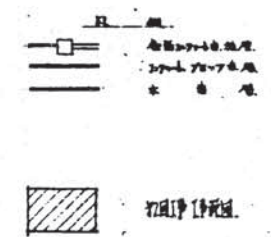
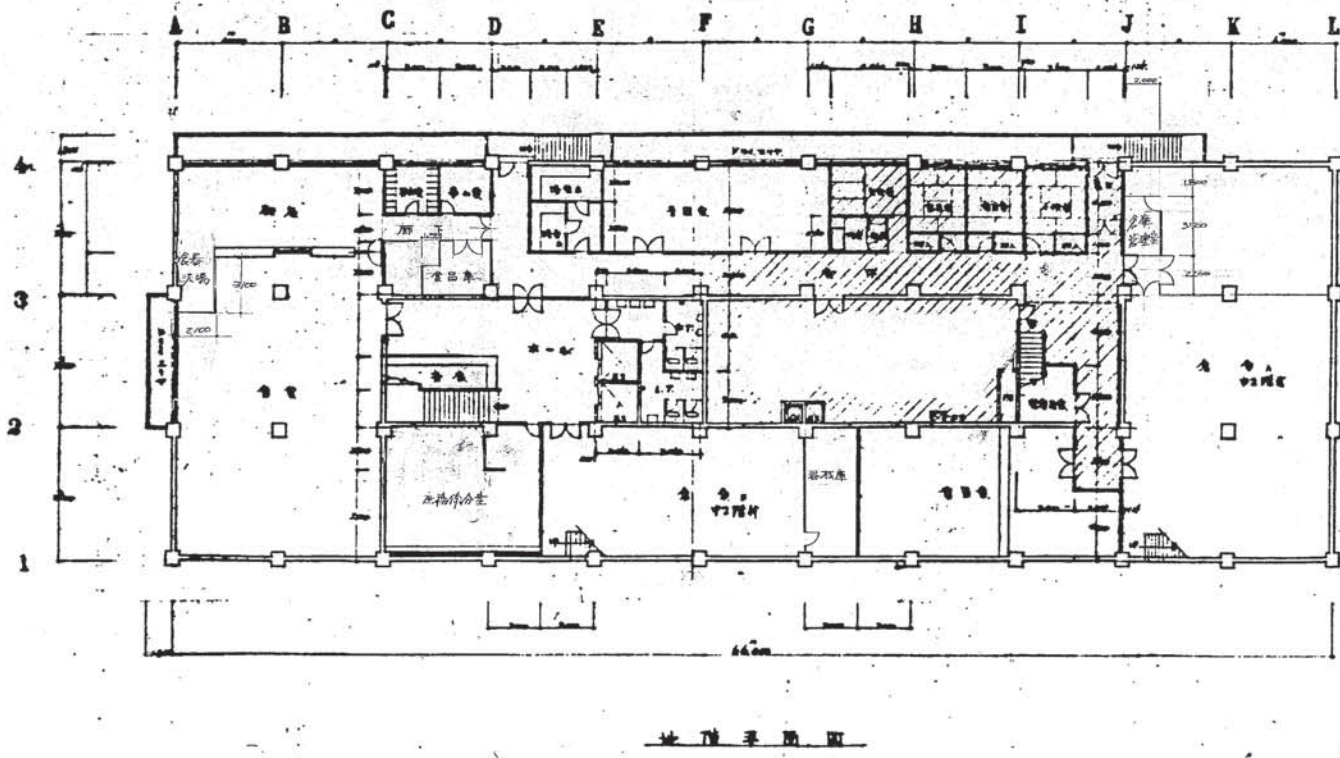


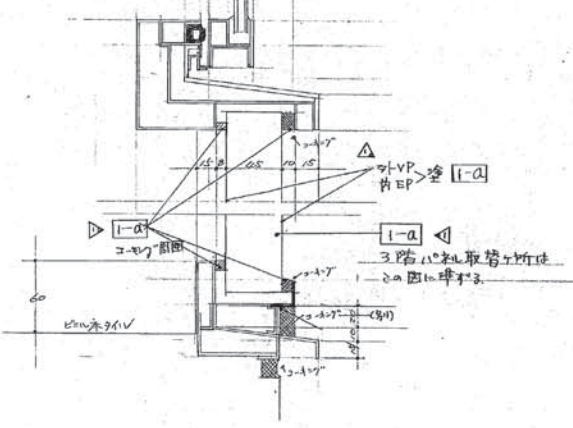
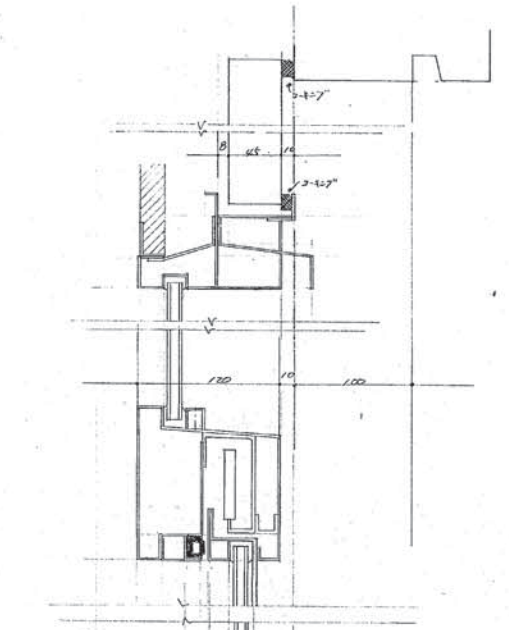
庁舎外壁調査
A 調査項目の方法、補修方法

1. 鋼製窓
- 調査項目の方法
- 材質：共通仕様書 16.2.1の適合の可否。
 - 溶接部が剥離した(とびきり)有状態の状況：目視、打診 (品質調査前に行う)
 - 板厚(とびきり)の有状態：測定 (品質調査後に行う)
 - 複層ガラスの劣化：目視
- 補修方法
- 鋼製窓の複層ガラスを除外し調査後は原形に復元が腐蝕により取付不可能な場合は監督官の協議し補修板などを使用し落下の危険のない様に取付ける。
 - シリープは新設する。
2. スポットライト・パネル
- 調査項目の方法
- パネルの表面材(内外共)の浮き亀裂の状況：目視
 - パネル止付金物のビス腐蝕状況：目視
 - シリープの劣化状況：目視
- 補修方法
- パネル及び下端止付金物を除外し調査後は原形に復元がパネルシリープは新設する(細アール樹脂加工処理 内面EP塗)
 - 下端止付金物はビス腐蝕により取付不可能な場合は位置を改めて止付し落下の危険のない様に取付ける。
3. 鋼板立
- 調査項目の方法
- 溶接部が剥離したと板厚 前記による
 - 鋼板立を除外し調査後は原形に復元が腐蝕により取付不可能な場合は監督官の協議し補修板などを使用し落下の危険のない様に取付ける。
4. 1, 2, 3に関連する床壁天井の取付は必要最小限範囲取付し取付後は原形に復元する。
- B. 調査範囲
1. 図示部分 図 2/23 3/23 9/23 10/23
- C. 調査報告書
1. B4版の大きさとし、写真、図表、調査結果、調査考察、改善策等とまとめ原本共3部提出する。

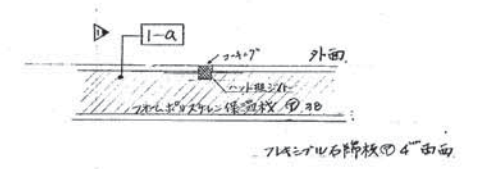


面積表			
階	床面積	柱面積	計
2階	87.26	17.26	104.52
1階	106.67	106.67	213.34
土	120.00	120.00	240.00
下	120.00	120.00	240.00
4	120.00	120.00	240.00
3	120.00	120.00	240.00
2	120.00	120.00	240.00
1	1511.30	157.14	1668.44
B	1071.80	1071.80	2143.60
B ₀	1005.12		1005.12
計	1071.80	1071.80	2143.60
合計	(2143.60)		2143.60

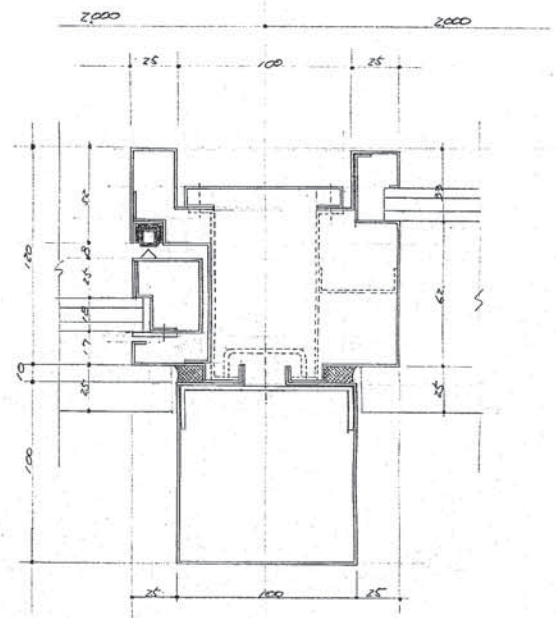
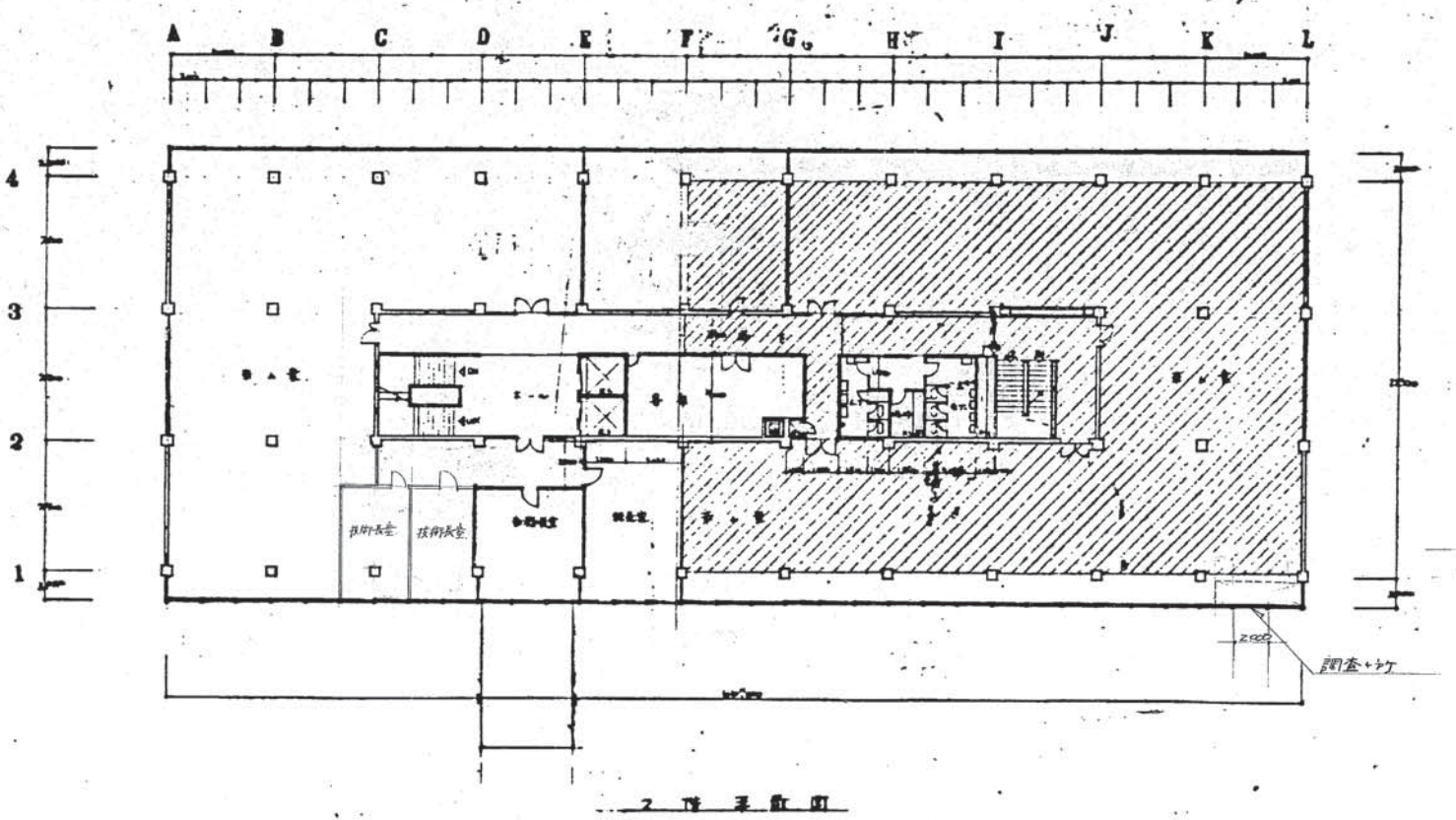
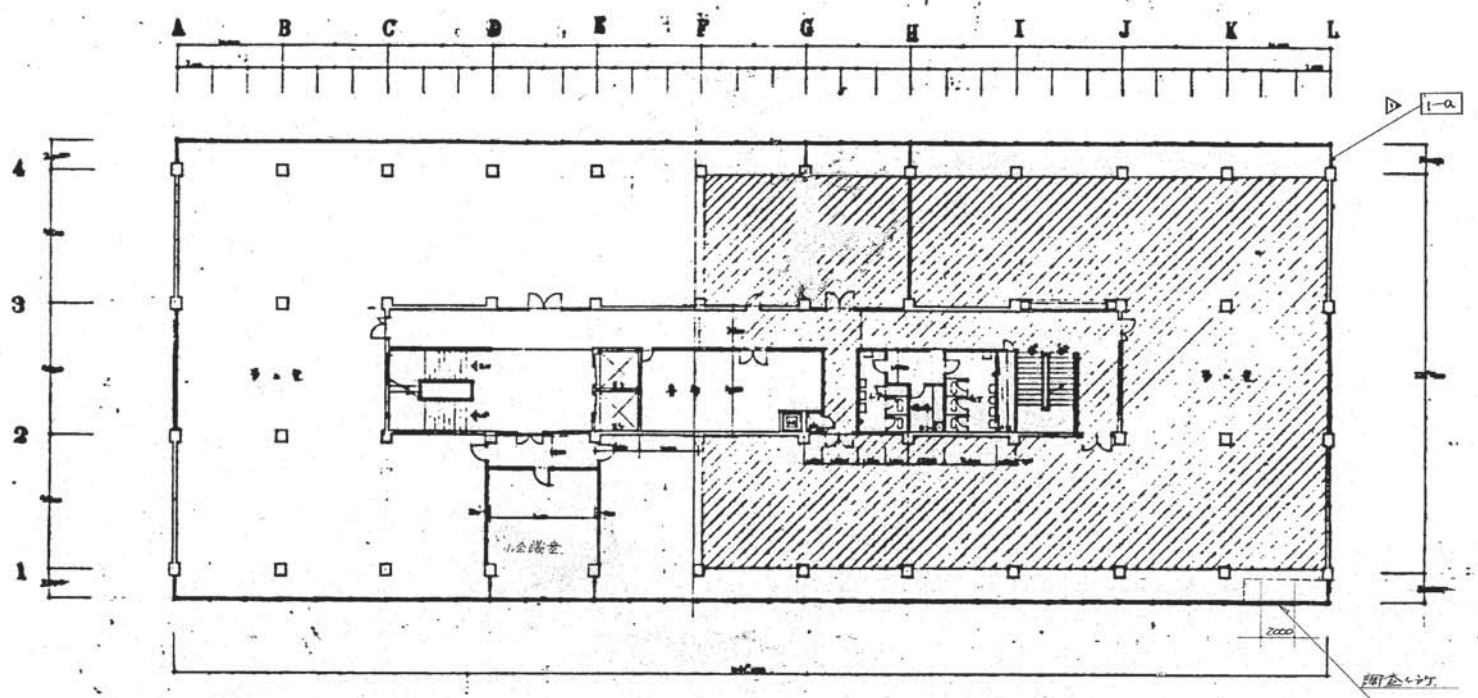




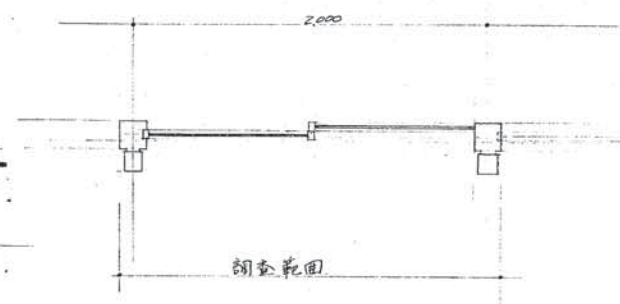
一段断面詳細図 1/3



1-2階間の断面図 1/3



鋼板方立詳細図 1/2



外壁断面図 1/20

凡例 ----- 後向仕切 (天井等)

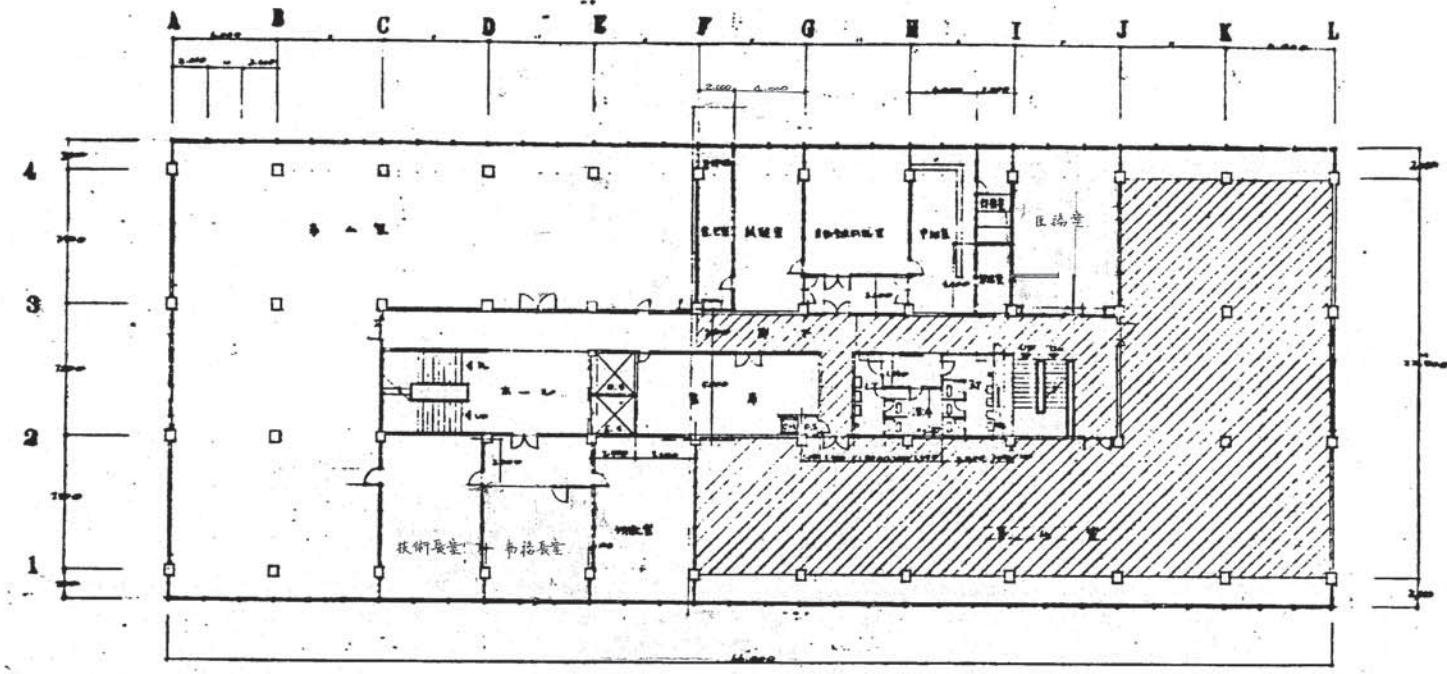
札幌開港特別修繕(建築)工事
2階、3階平面図 S:1/200

北海道開発局管轄部

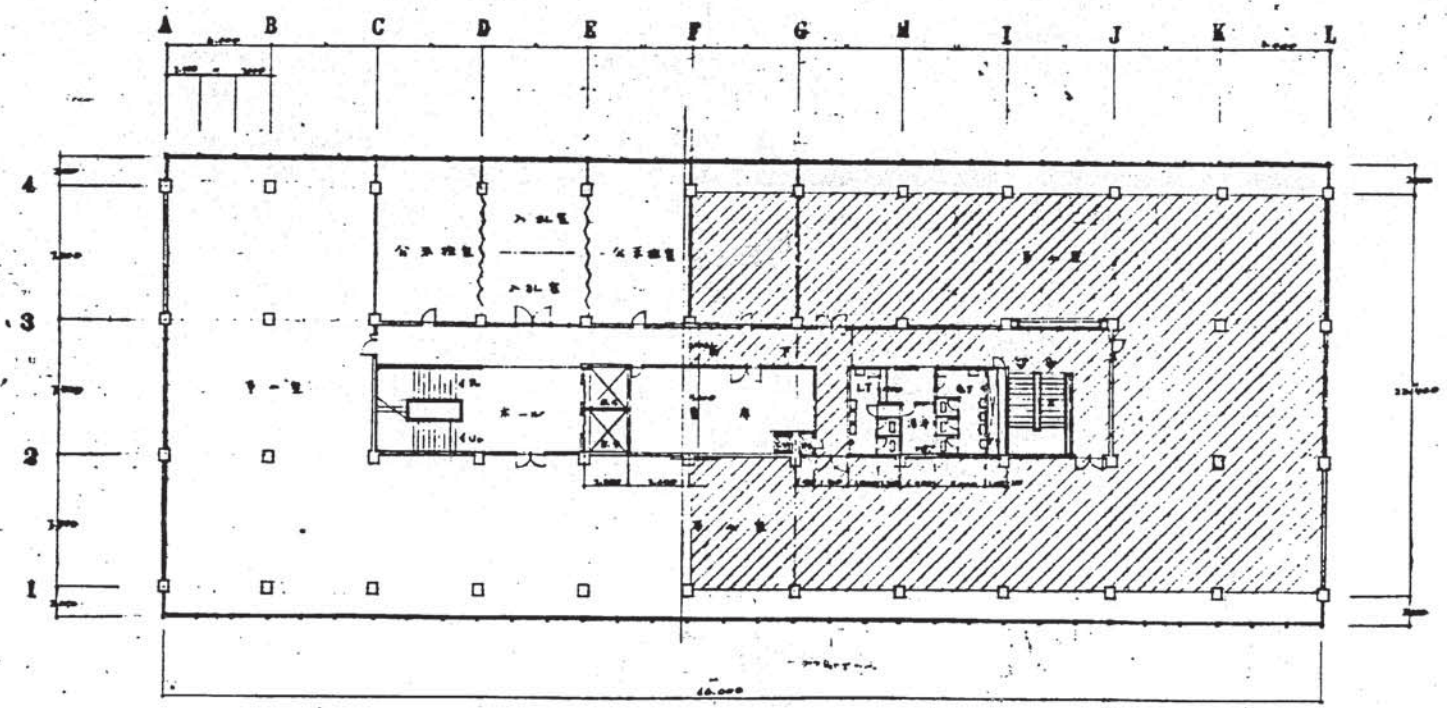
7

23

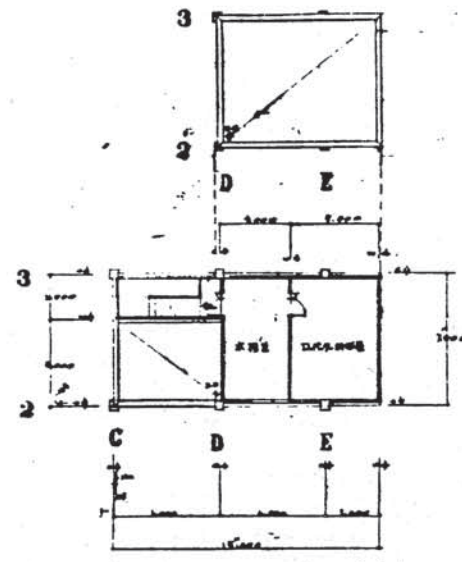
81BA01-036



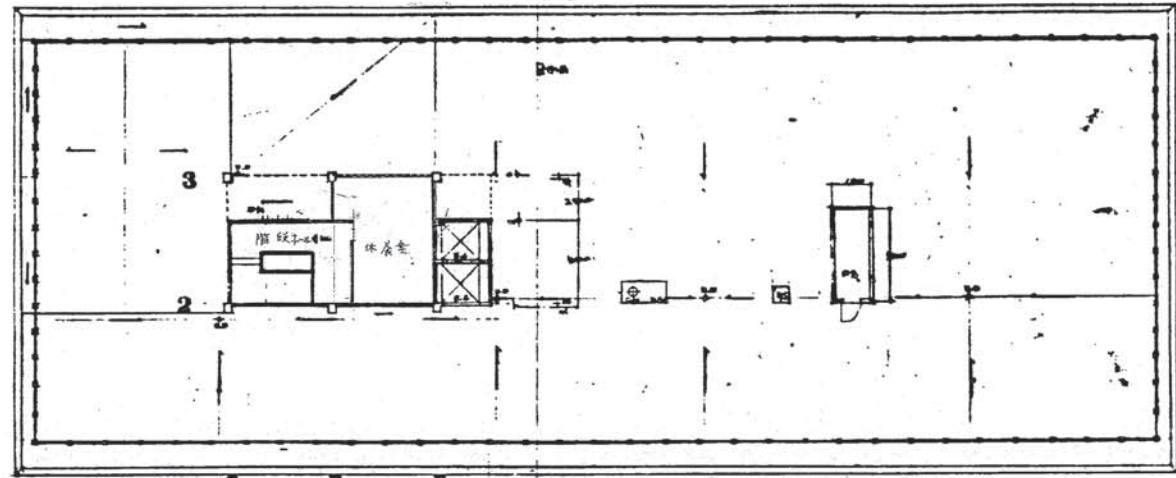
3階平面図



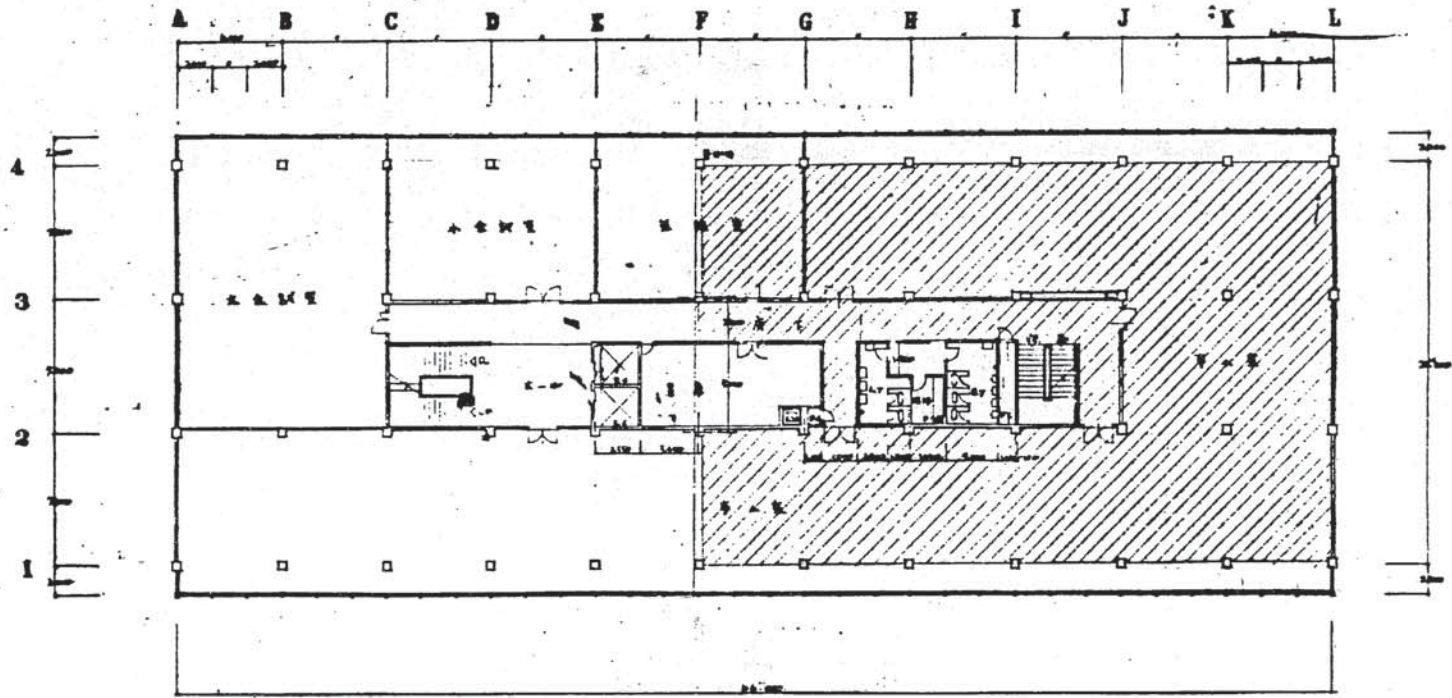
4階平面図



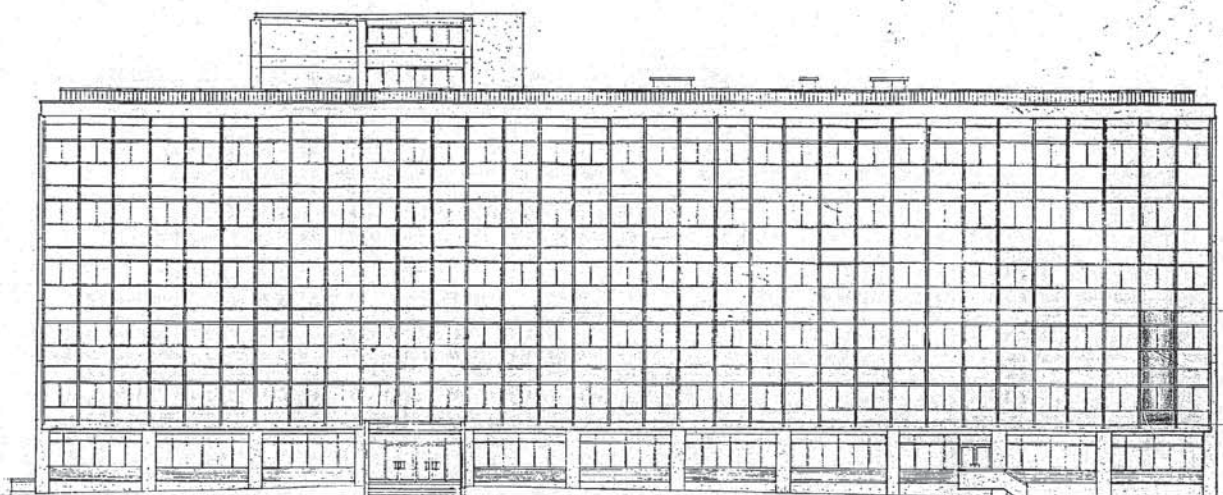
塔屋階平面図



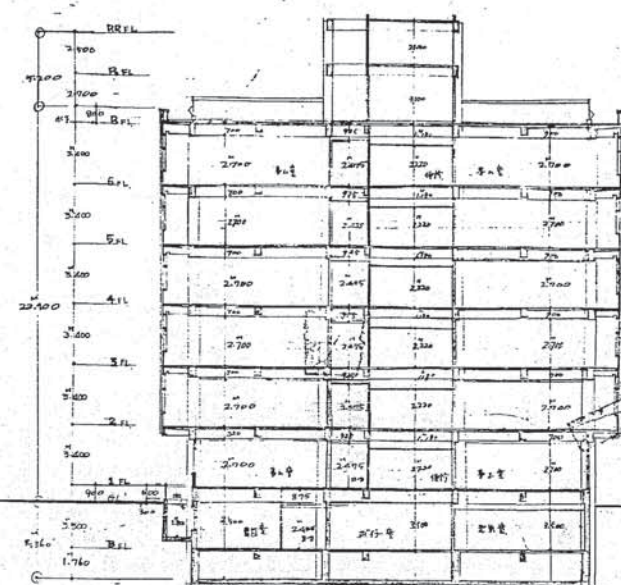
塔屋階平面図



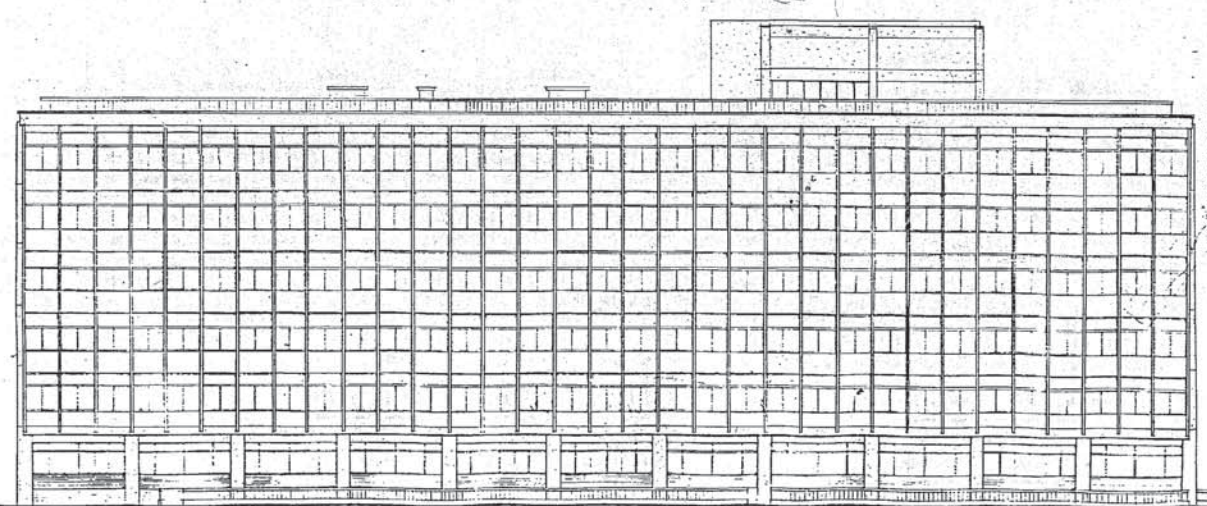
上階平面図



前 面 図 S. 1:200.



断 面 図 S. 1:200.



北 面 図 S. 1:200.



側 面 図 S. 1:200.

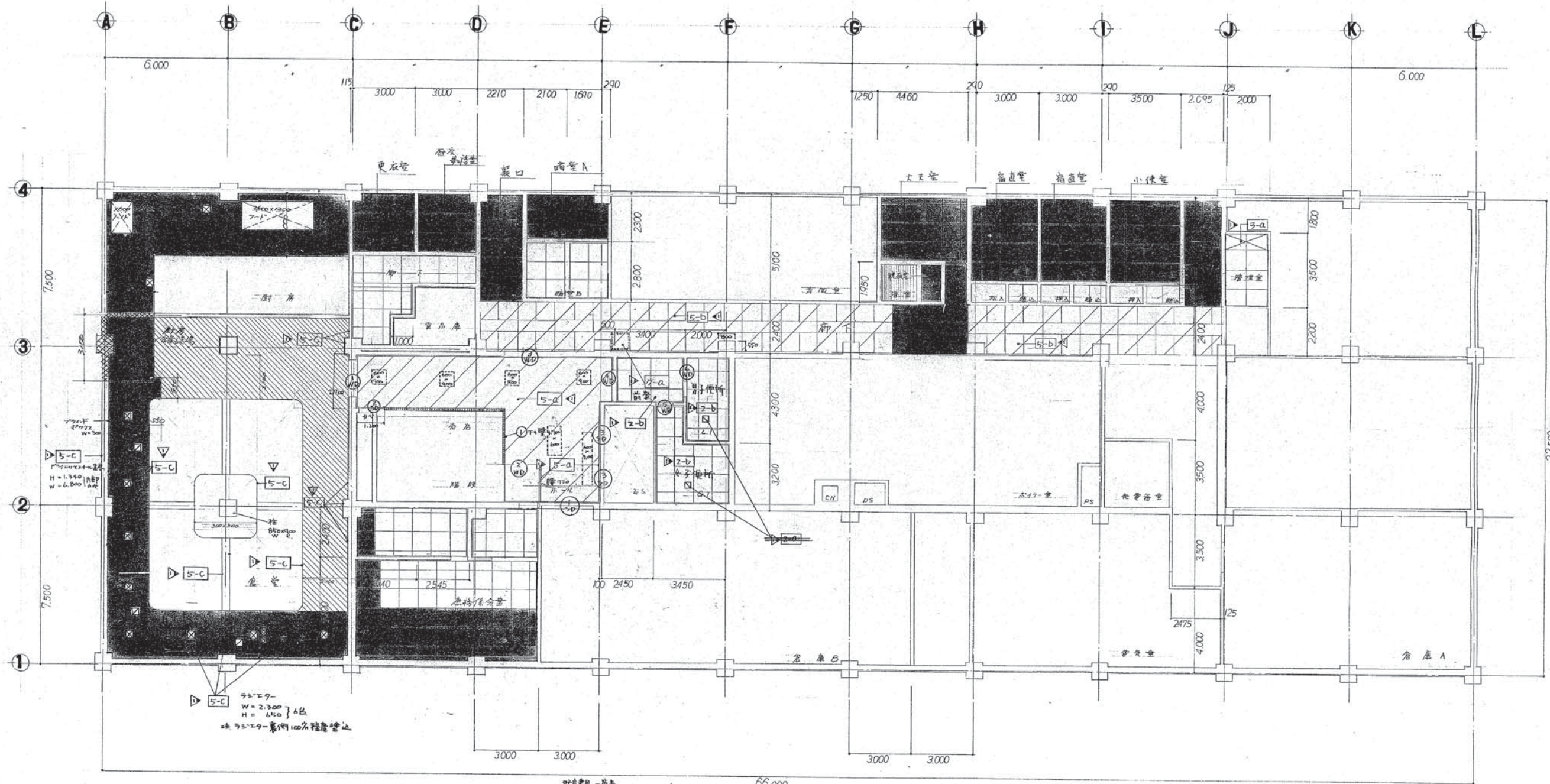
外壁調査・訂

第 / 回設計変更

札幌南建研別修繕(建築)工事
外壁調査の立面図、断面図 S: 1/200
北海道開発局営繕部

10
23

81BA01-039

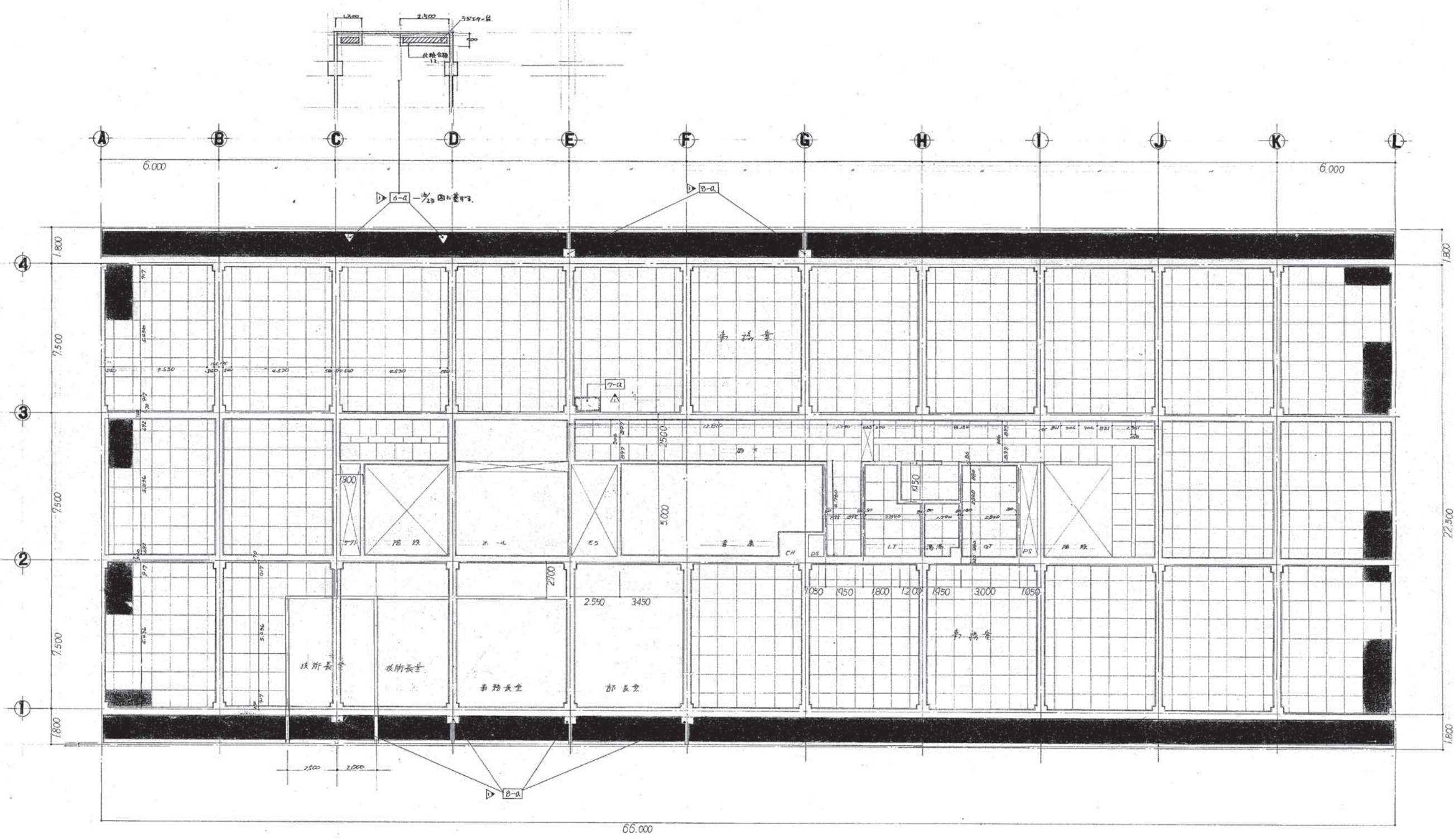


① 下階詳細

階高表			
W	H	W	H
WD1	1.95m	1.50m	SD1 1.95m
WD2	2.30m	1.50m	SD2 1.95m
WD3	1.95m	1.50m	SD3 2.30m
WD4	1.95m	1.50m	
WD5	1.95m	1.50m	
WD6	1.95m	1.50m	

地階天井伏図 S1:100

- 天井張替之竹
- ▨ 天井ノドス張替之竹
- ▷ ▨ 5-a
- ▷ ▨ 7-a
- ▷ ▨ 3-a
- ▷ ▨ 60°
- ▷ ▨ 45°
- ▨ 一室張替止之竹
- 取替可敷

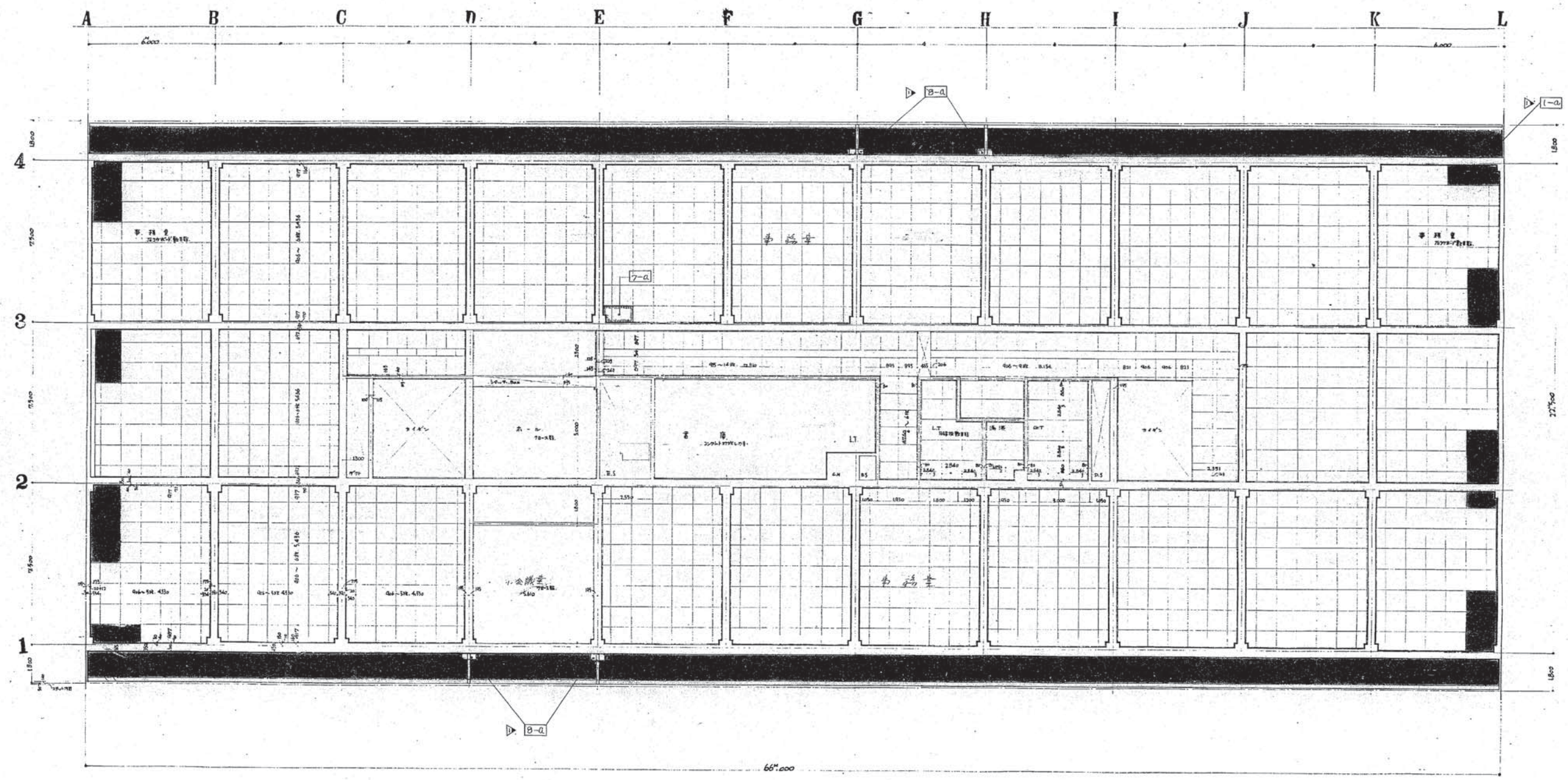


2階天井伏図 1:100

天井張りの仕方
 7-a
 8-a

札幌内閣府別格(建築)工事
 2階天井伏図 S: 1/100 13
 北海道開発局営繕部 23

81BA01-042



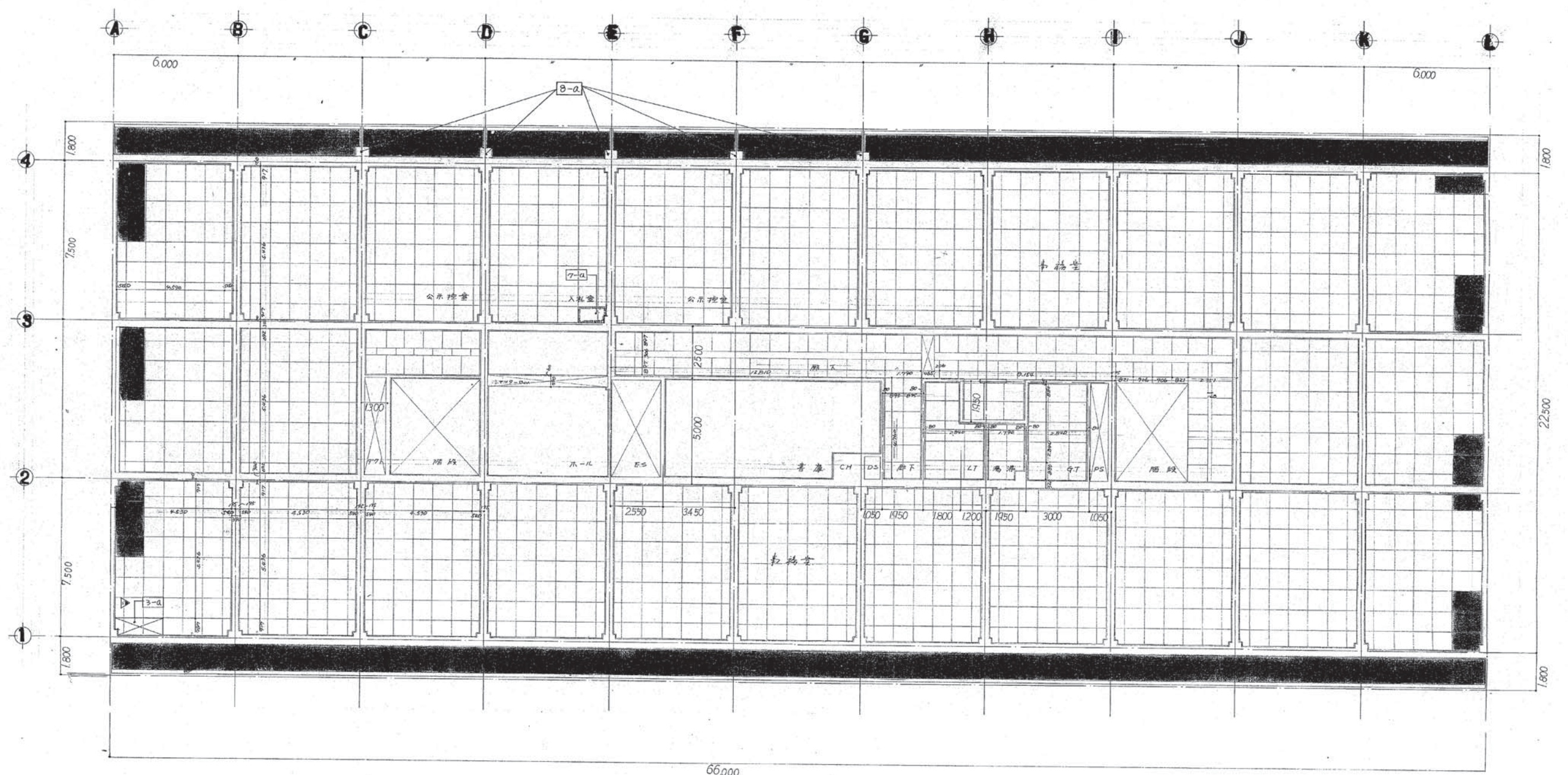
3階天井伏図 1/100

天井活簾之付
 7-a
 8-a

第 / 図設計

札幌同建特別修繕(建築)工事
 3階天井伏図 S: 1/100 14
 北海道開発局営繕部 23

81BA01-043



4階天井伏図 S:1/100

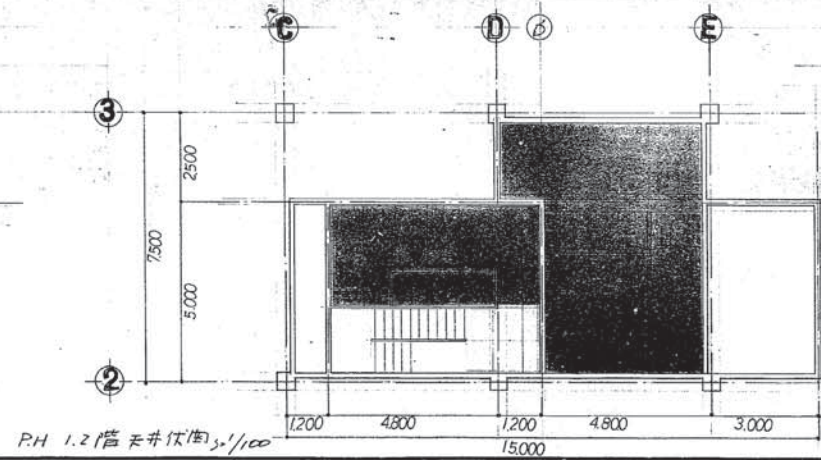
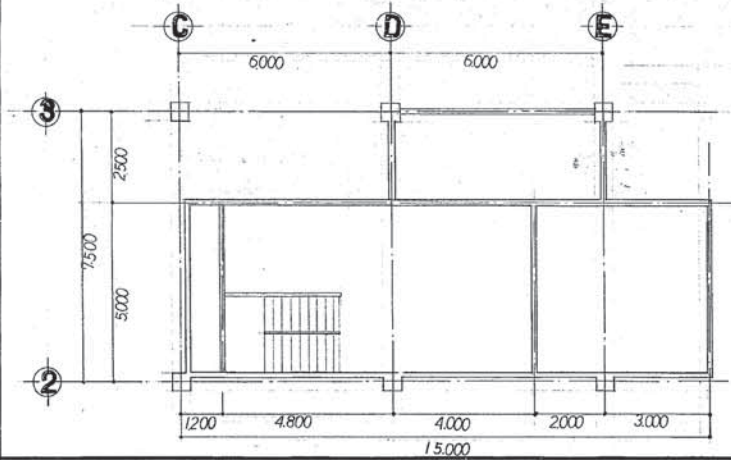
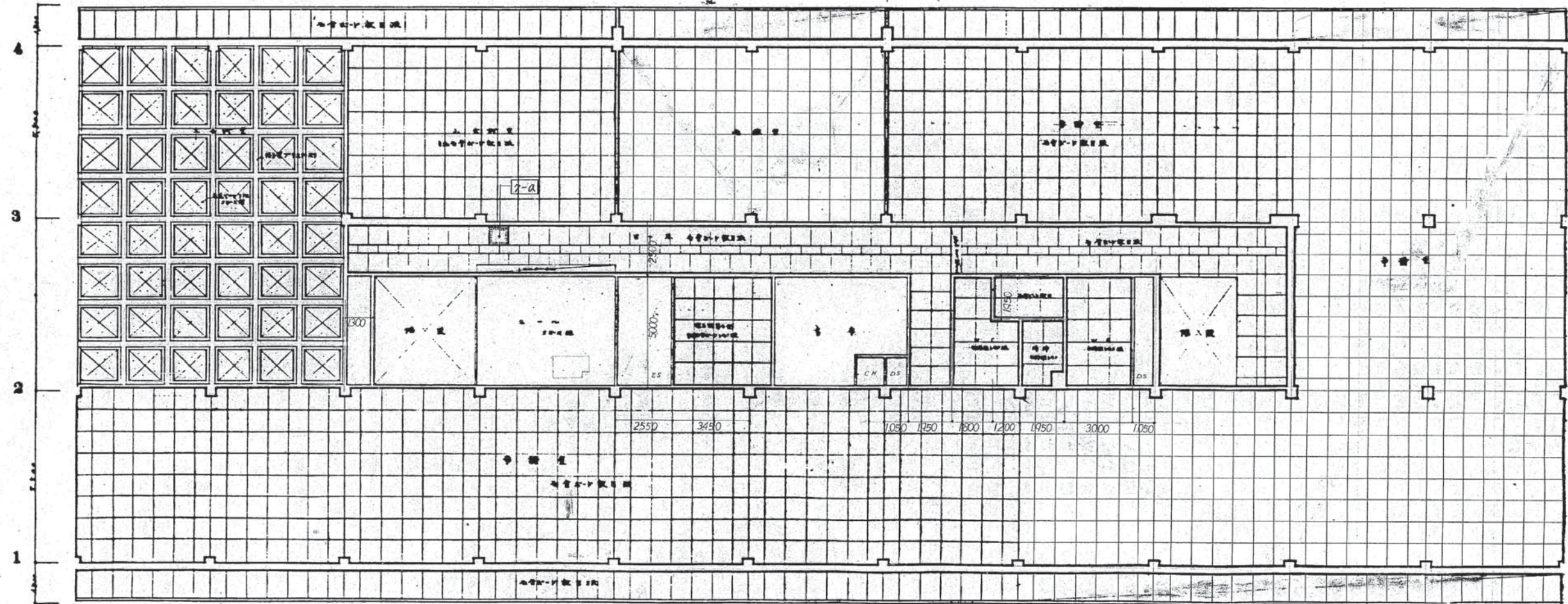
■ 天井張りの付
 ▽ ⊠ 3-a ▽ □ 8-a
 ▽ □ 7-a

第 / 図 設 計

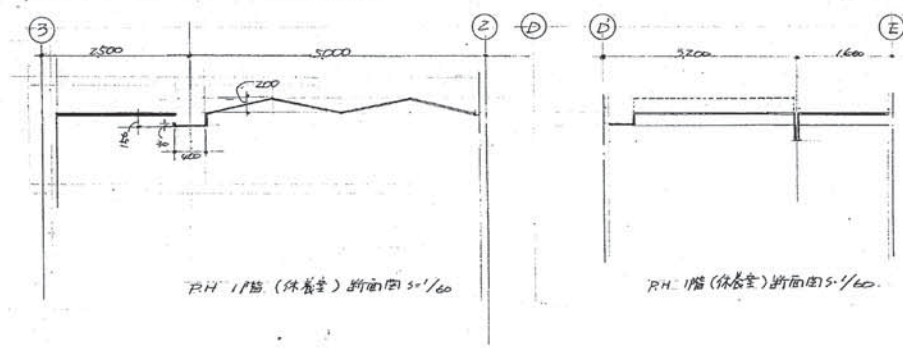
札幌周産特別修繕(建築)工事
 4階天井伏図 S:1/100 15
 北海道開発局営繕部 23

81BA01-044

A B C D E F G H I J K L



6階天井伏図 S:1/100



PH 1階 (休養室) 断面図 S:1/100

PH 1階 (休養室) 断面図 S:1/100

■ 天井換気口

▷ 7-a

札幌圏建特別修繕(建築)工事

6階層階塔屋2階天井伏図 S:1/100

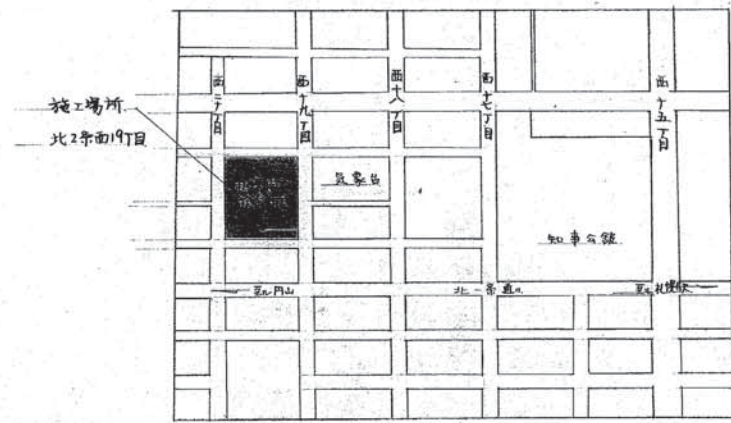
北海道開発局営繕部

17

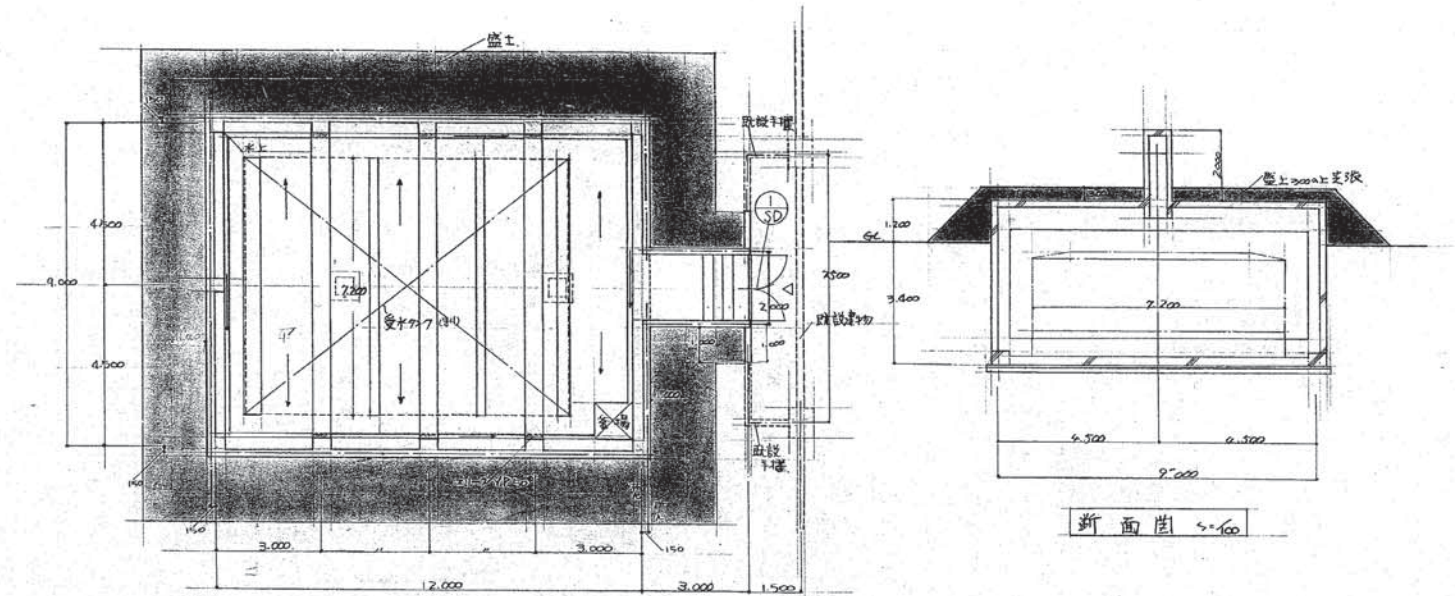
23

第 / 四設

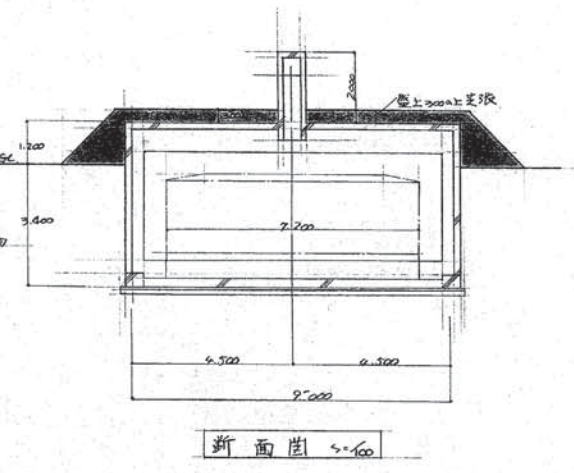
81BA01-046



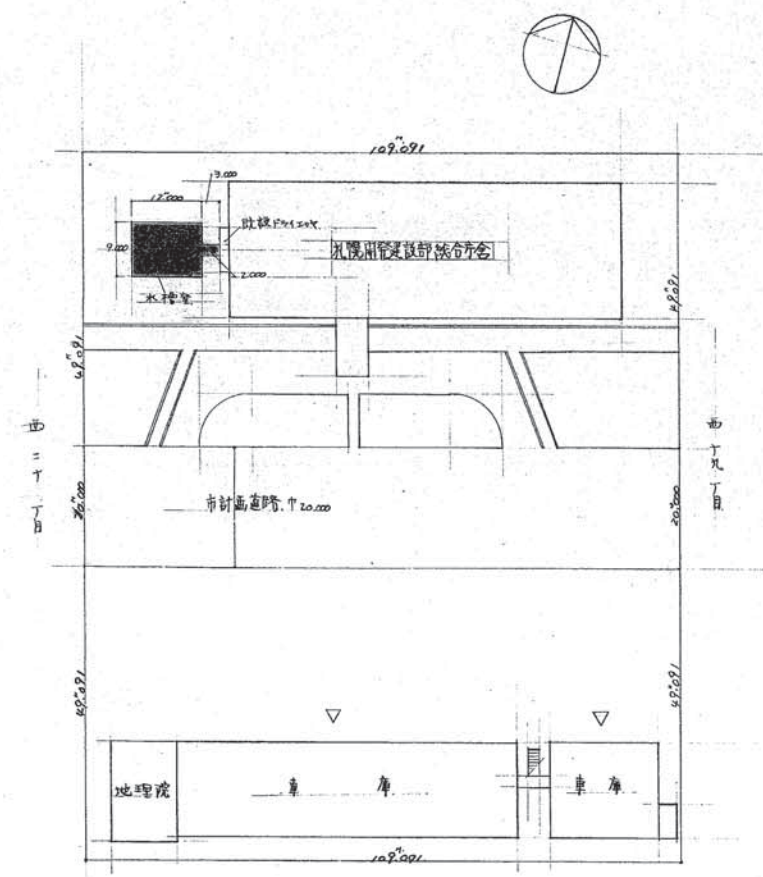
案内図



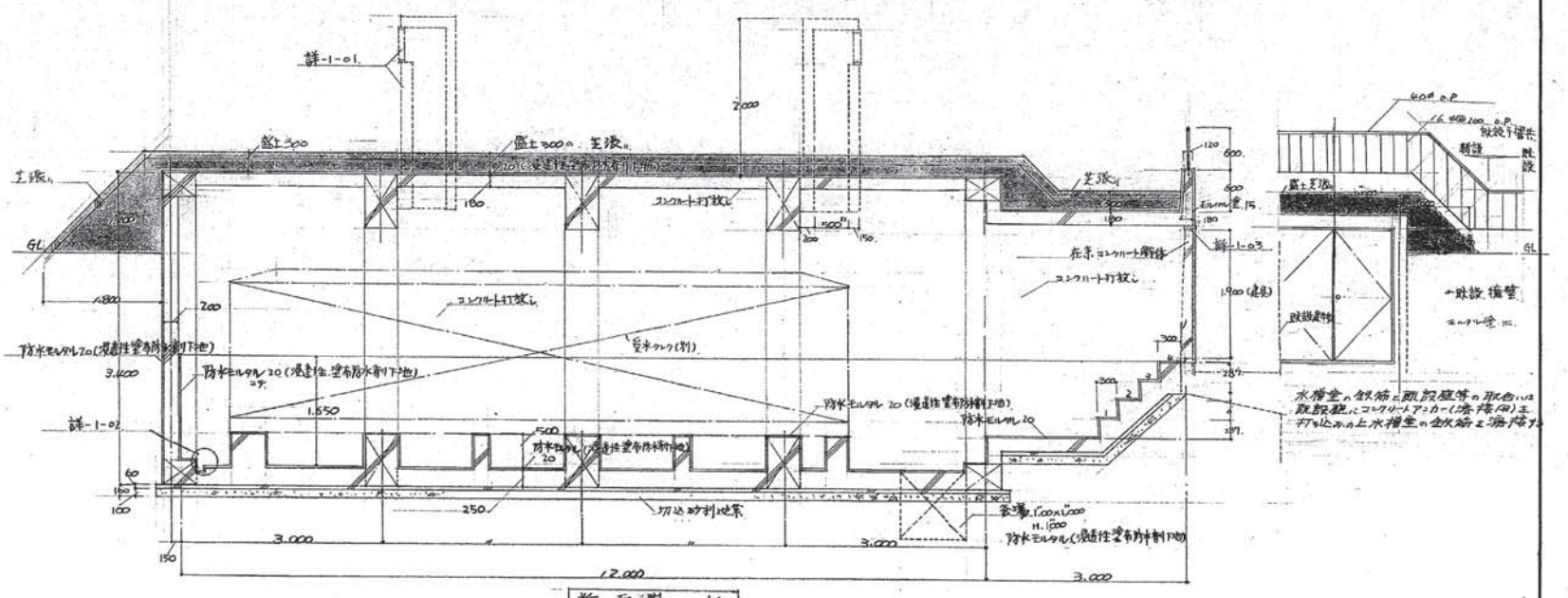
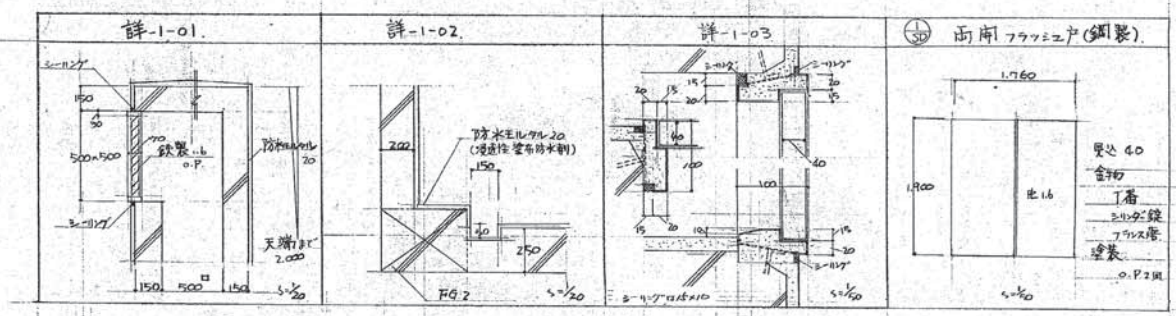
水槽室平面図 1/100



断面図 1/100

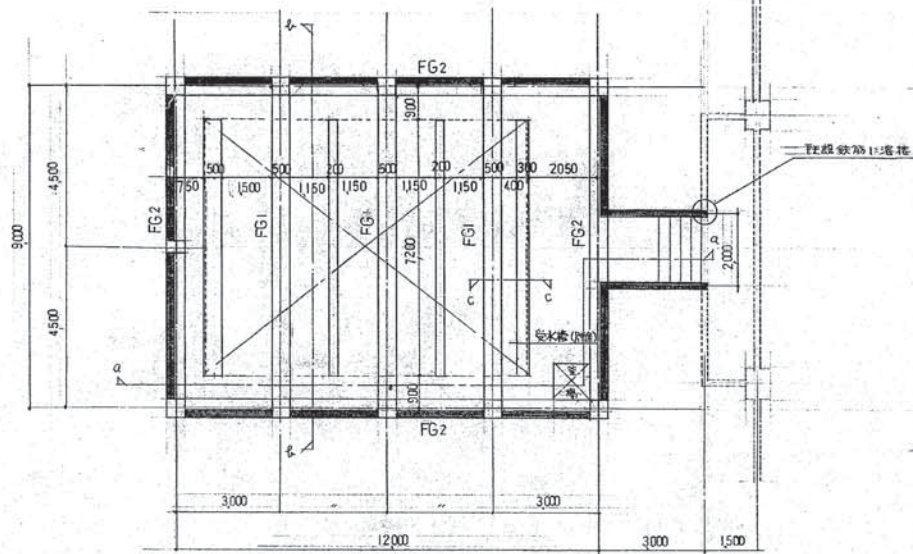


配置図 1/500

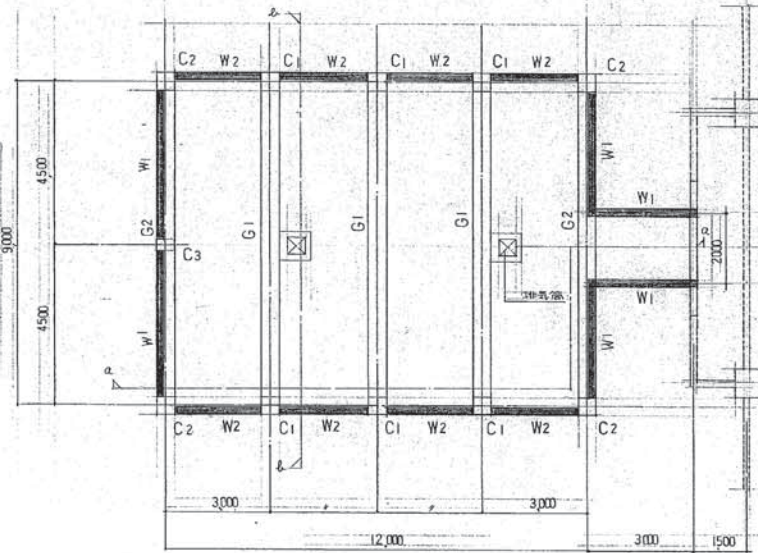


断面図 1/50

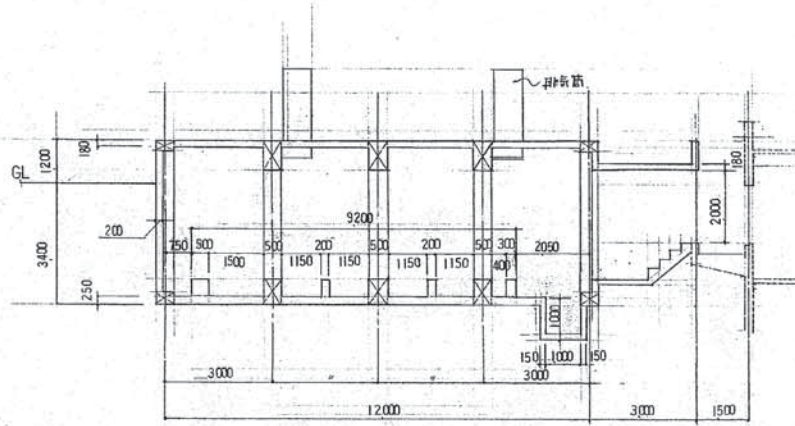
札幌市建設特別修繕(建築)工事
 水槽室平面図、断面図、詳細図 S: 1/100, 1/50, 1/20
 北海道開発局営繕部



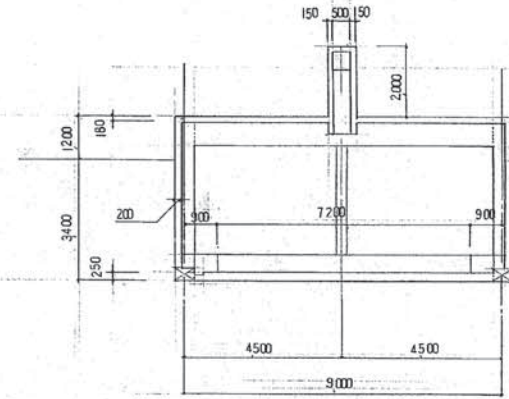
基礎伏図 S: 1/100



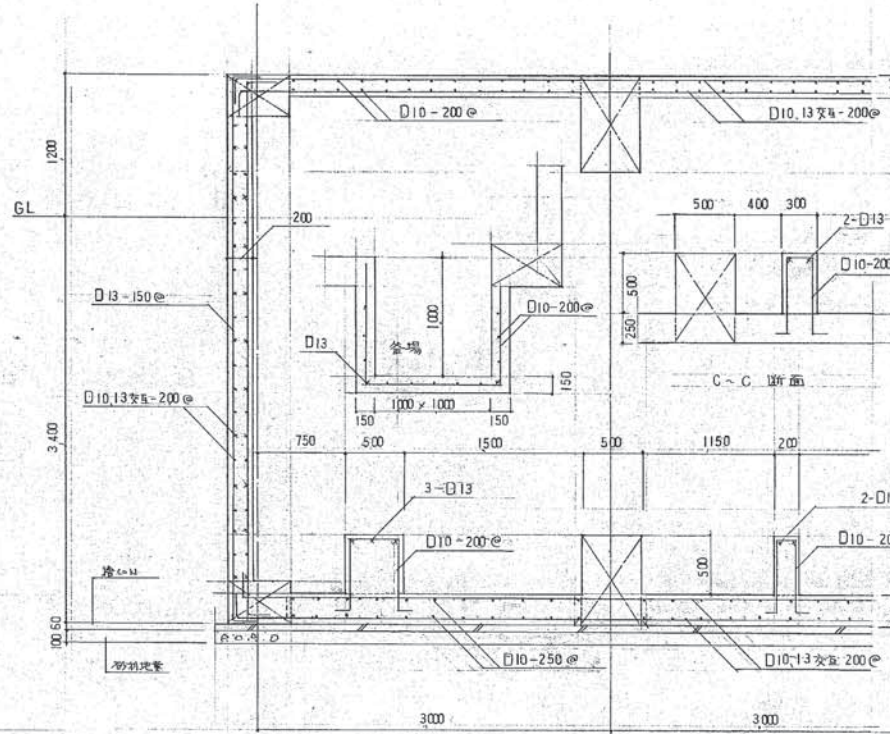
梁柱伏図 S: 1/100



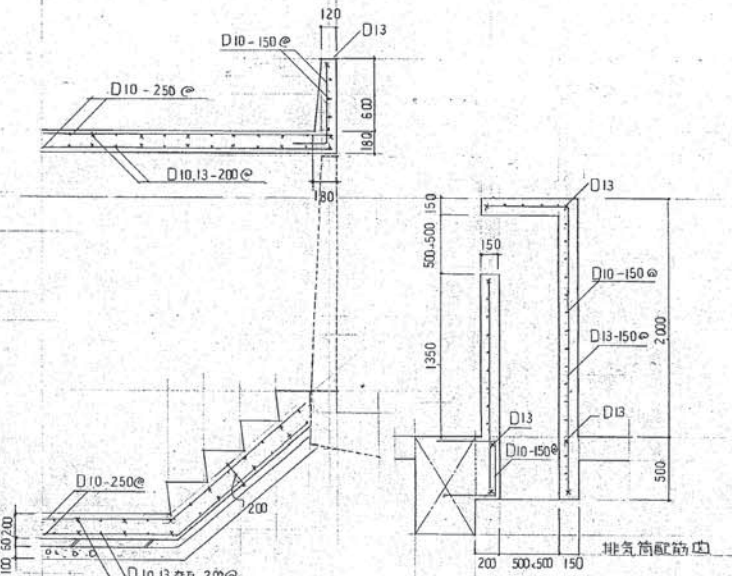
a-a断面図 S: 1/100



b-b断面図 S: 1/100



断面詳細図 S: 1/30



梁別	断面	縦筋入り横筋
W1		縦筋 D13-150@ 横筋 D10,13交互-200@
W2		縦筋 D10,13交互-200@ 横筋 D13-200@

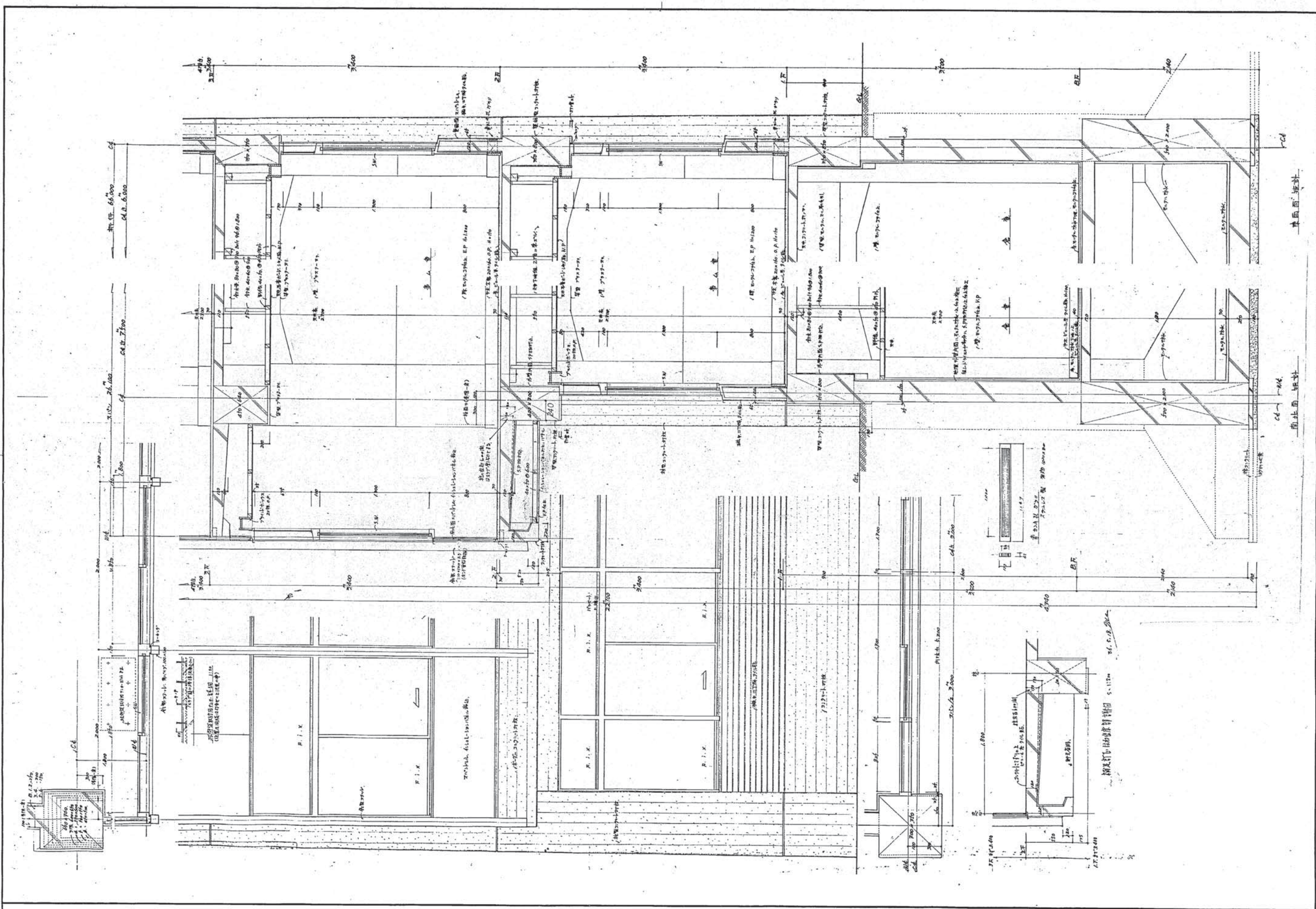
梁リスト

柱番号	G1		G2		FG1		FG2	
	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面
		500x800		500x350		500x750		500x350
主筋		D25		D19		D25		D19
断面	上端							
	下端							
あはせ筋		D13-200@		D10-200@		D13-200@		D10-200@

柱リスト

符号	断面		
	C1	C2	C3
主筋	12-D22	8-D19	6-D22
断面			
	500	500	500
帯筋	D10-100@	D10-100@	D10-100@

札幌市建設事務所(建築)工事
水橋宮構造部 S: 1/30, 100 19
北海道開発局管轄部 23



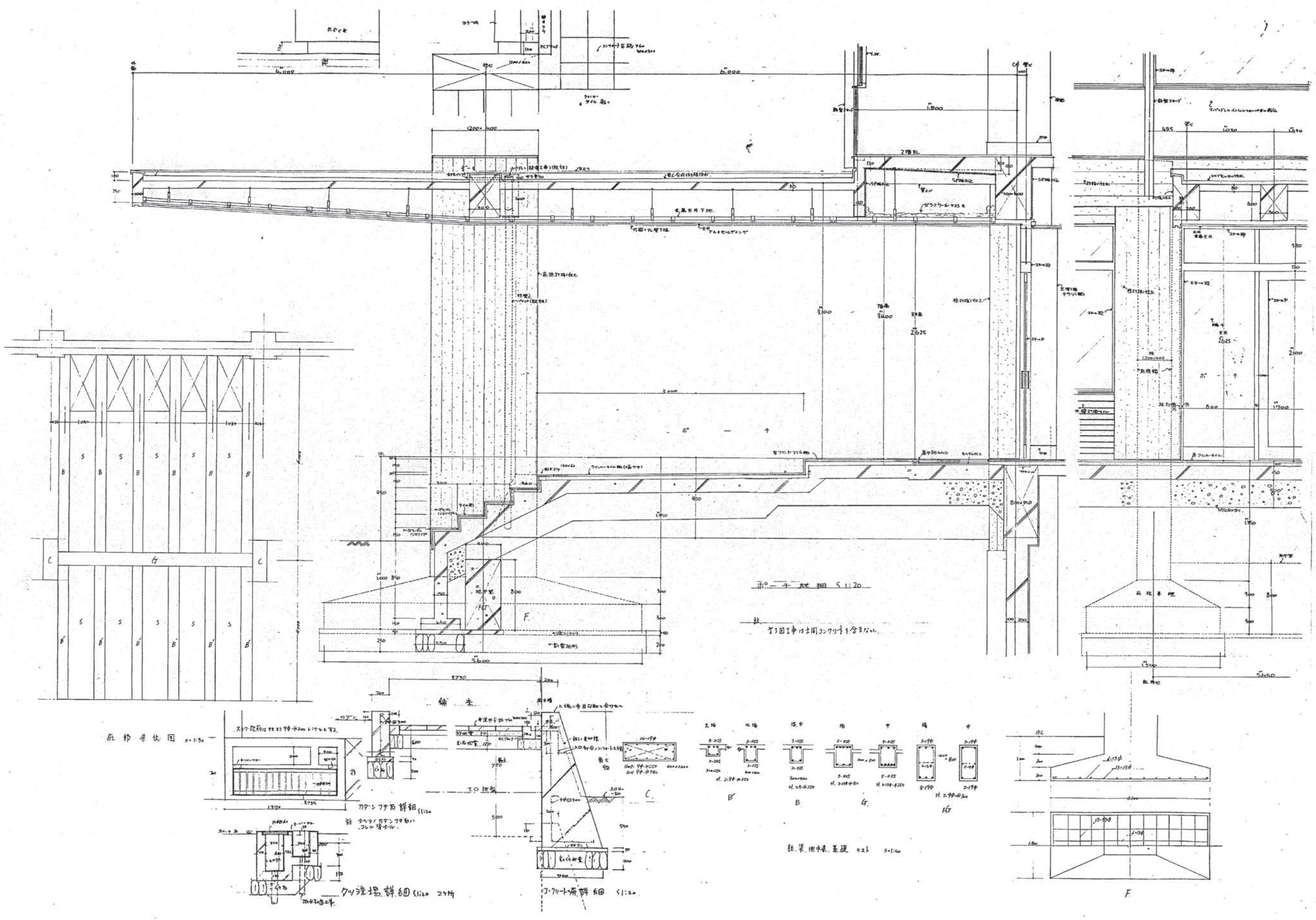
東面 設計
北面 設計

札幌南區特別修繕(建築)工事
 券第(40)号 S: 1/50
 北海道開発局営繕部

20

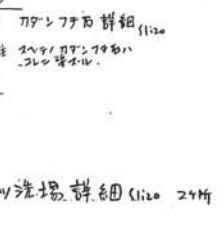
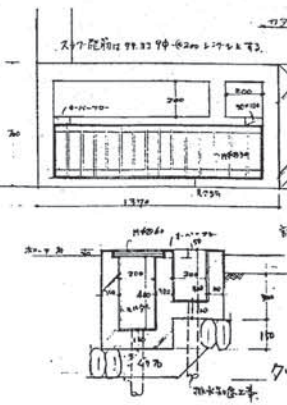
23

81BA01-049

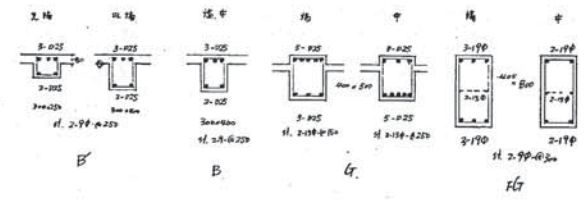


示一予 断面 1:20
 注 本図に示す鋼骨コンクリートを含む。

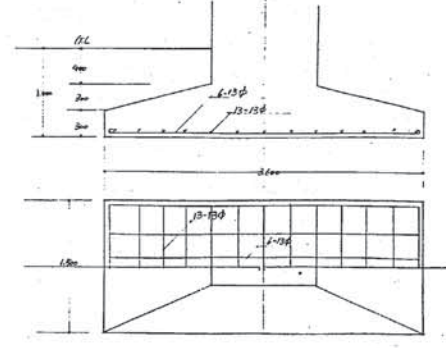
配筋状況図 1:50



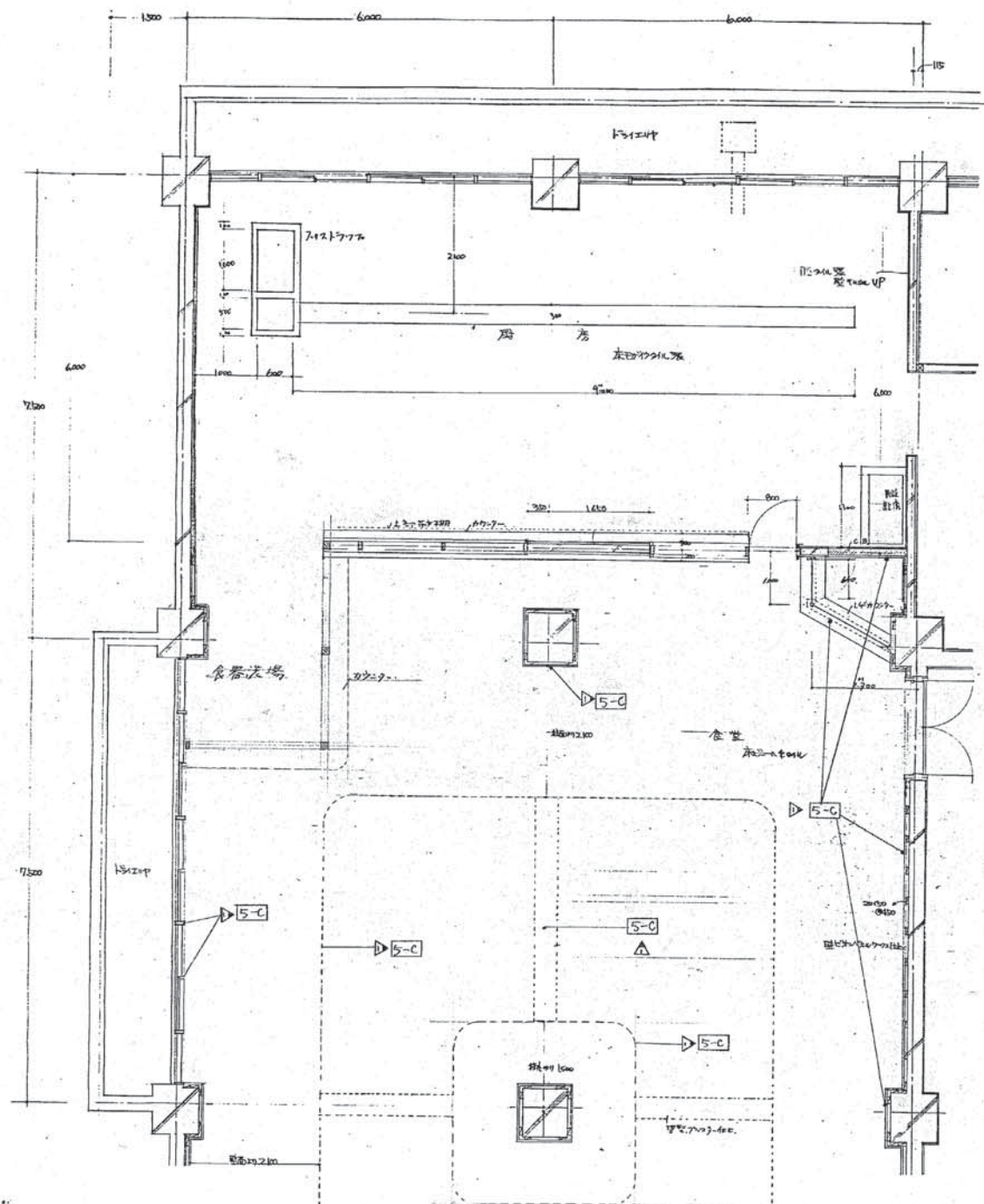
階段詳細 1:10



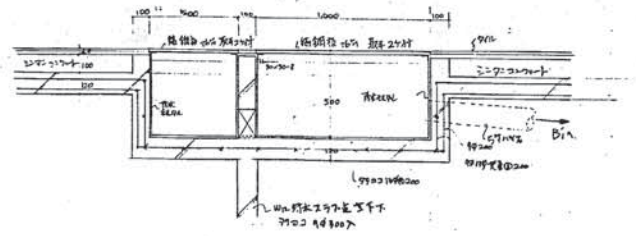
建築地中床基礎 1:20



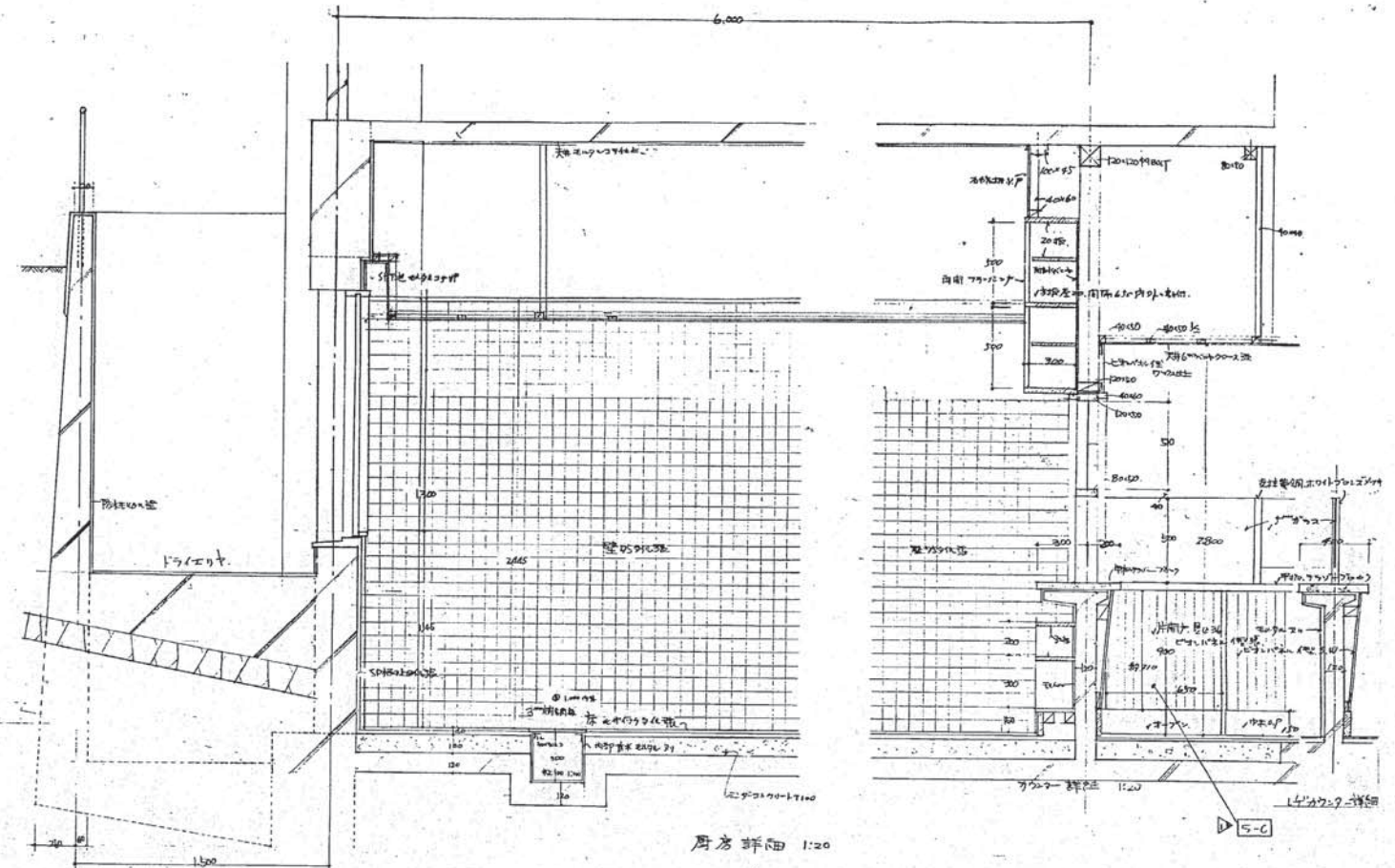
F



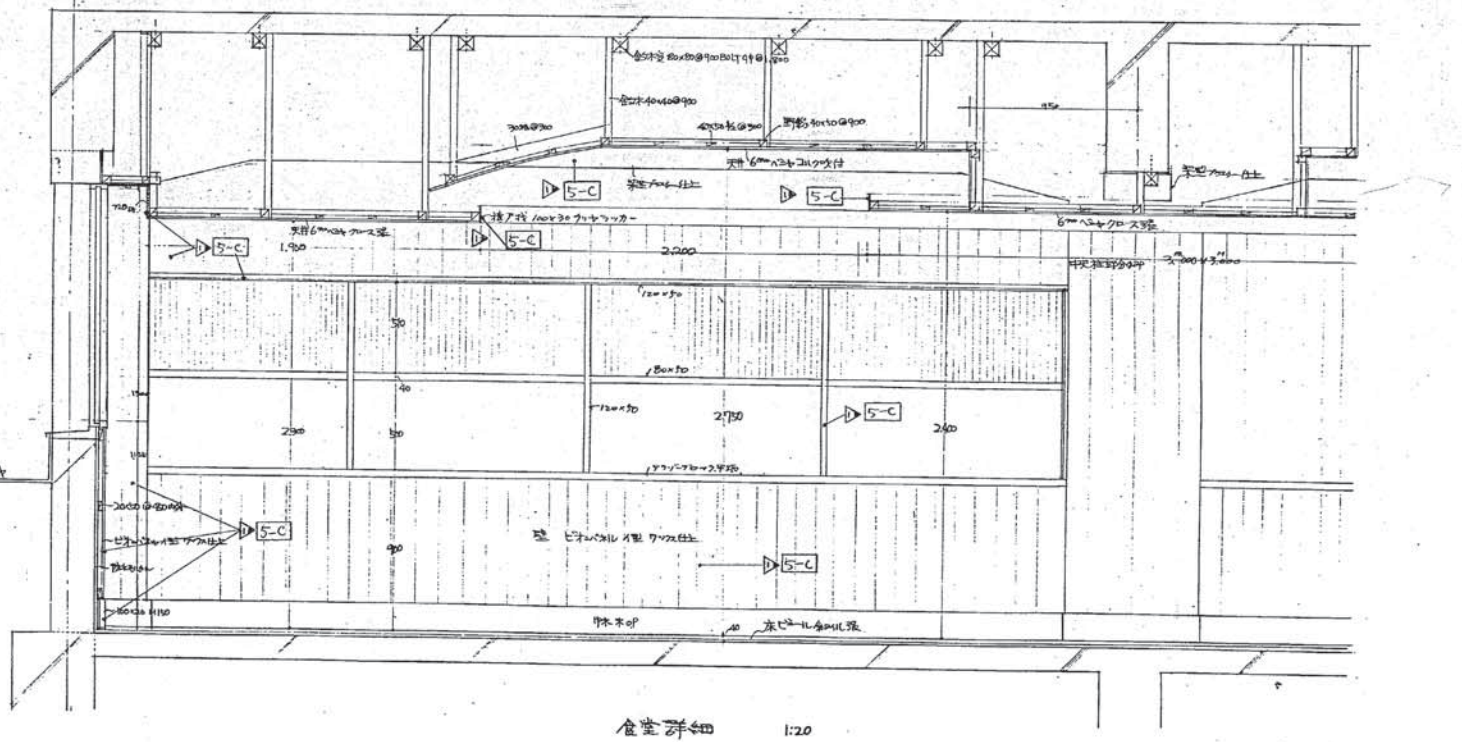
食堂厨房平面 1:50



キッチン詳細 1:20



厨房詳細 1:20



食堂詳細 1:20

札幌市特別修繕(建築)工事	
厨房(第1号)	S:1/20
北海道開発局営繕部	

第 / 回設計変更

23
23

81BA01-052